

平成30年度事業

消防吏員給与品仕様書

鹿島地方事務組合消防本部

1 総則

本仕様書は、鹿島地方事務組合消防本部消防吏員服制規程に基づき、消防吏員に給与する被服について定めるものである。

2 仕様

番号	品名	メーカー	型番等	参考図等 (別添)
1	夏服	ひやくまさ	上衣 東レ7778 菊穴付 ズボン ユニチカU-3456	資料1
2	夏帽	ひやくまさ	U-3456 ナイロンメッシュ（艶消しブルー）	
3	活動服	イマジョー	厚手 上衣 4120-2A ズボン 4120-3DF 薄手 上衣 4180-2A ズボン 4180-3DF	資料2 資料3
4	冬救急服	赤尾	エミュファイター 上衣 TA1410、ズボン TA-1	資料4
5	夏救急服長袖・半袖	赤尾	エミュファイター 上衣 TA1403長袖、TA1403半袖 ズボン TA-2	資料5
6	アポロキャップ	イマジョー	4120*W 刺繍ワッペン型 4180*W 刺繍ワッペン型	資料6 資料7
7	夏服用ベルト	帝国繊維	ナイロンベルト#2415長尺	
8	活動服用ベルト	イマジョー	TB8216 長尺	
9	救助服用ベルト	帝国繊維	レンジャーベルト（オレンジ）	
10	救急服用ベルト	赤尾	反射式作業用ベルト長尺（白） 2本ピン・クロームバックル	
11	救急服用替え襟	赤尾	エミュファイター救急服用	
12	ブルゾン	ミズノ	87JQ-093パステルネイビー	資料8
13	ワイシャツ	フレックス	BRL450 白ワイシャツ	
14	ネクタイ	帝国繊維	ロマンネクタイ（紺） ポリエステル100%	
15	黒短靴	ミドリ安全	MG1310N	資料9
16	編み上げ靴	ミドリ安全	RT731 F 消防静電P-4	資料10
17	雨衣	アイトス	上衣 AZ-56303（オレンジ×ネイビー） ズボン AZ-56304（オレンジ）	資料11
18	ヘルメット	帝国繊維	FM-8型 F-1-P式 銀	資料12
19	ゴム長靴	弘進ゴム	紳士半長靴	
20	白手	東レ	N0105 ダブルナイロンホック付	
21	革手	北原シューズ	S1（ホワイト）	
22	ケブラー手袋	赤尾	エミュケブラー手袋	

※ 仕様中に氏名の刺繍の指定があるものは、契約後に名簿を配付する。

3 サイズ及び数量

別添1「給与品サイズ別内訳表」のとおりとする。

4 納入期日

平成30年11月30日（金）

5 納入場所

神栖市溝口4991番地5 鹿島地方事務組合消防本部消防課

※消防本部消防課にて検収後、以下の所属へ分類し納品すること。（別添2「配布先一覧」）

- | | |
|-------------|--------------------|
| ・ 消防本部 | 神栖市溝口4991番地5 |
| 消防課 | |
| 警防課 | |
| 救急救助課 | |
| 予防課 | |
| ・ 神栖消防署 | 神栖市溝口4991番地5 |
| ・ 大野消防署 | 鹿嶋市大字和707番地4 |
| ・ 鹿嶋消防署 | 鹿嶋市大字宮中4623番地1 |
| ・ 鹿島港消防署 | 神栖市東深芝13番地 |
| ・ 波崎消防署 | 神栖市波崎6611番地 |
| ・ 波崎消防署土合分署 | 神栖市土合本町二丁目9928番地12 |

6 その他

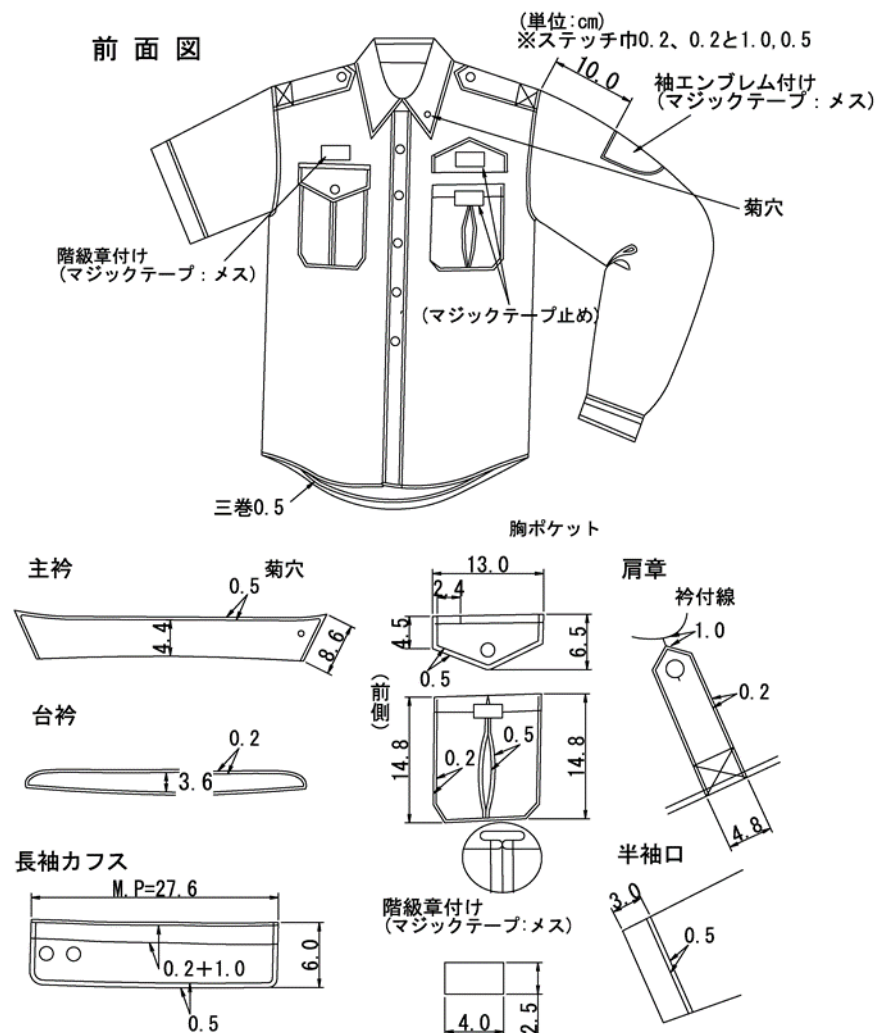
検収後であっても、生地・付属品及び寸法等縫製上の欠陥が認められた時は、受注者の責任とし、無償で修理又は交換すること。疑問点が生じた時は、必ず消防本部消防課と綿密に打ち合わせするとともに、仕様書記載以外の縫製にあっても、誠意を持ってあたること。

資料 1

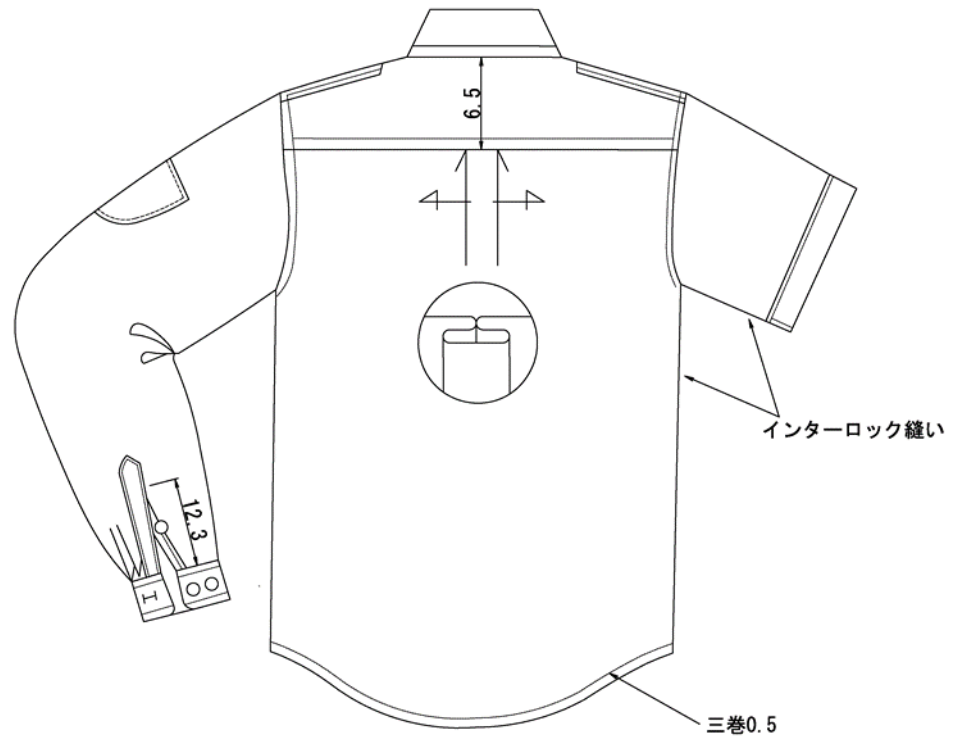
品名 夏服長袖（上・下）
夏服半袖（上・下）

1 上衣

- (1) 材料 東レFT-7778 トロピカル 導電繊維全面混入
- (2) 混紡率 レーヨン25% 再生ポリエステル55% ポリエステル10% ナイロン（コスメルト®10%）
- (3) マジックテープ（メス） 左袖エンブレム用、階級章用
- (4) エンブレム付け 左袖に袖付より10cm下がった位置中央に横巾7cm、丈8cmのマジックテープ（メス）を縫い付ける。マジックテープの色は、表地と同系色とする。
- (5) 階級章 1着ごとに指定したアドバンス階級章を添付すること。
- (6) 菊穴 襟（着衣時左側）に菊穴を設けること。



後面図



男性消防吏員制服夏型(長袖・半袖)上衣標準サイズ表

●単位: cm(出来上がりサイズ)

部位 \ サイズ	AS	AM	AL	ALL	A3L	BS	BM	BL	BLL	B3L	YM	YL	YLL
首 囲	37	38	39	40	41	38	40	42	44	46	37	38	39
着 丈	80	82	84	86	88	80	82	84	86	88	82	84	86
肩 巾	44	44	46	48	50	45	47	49	51	53	43	44	46
袖 丈	55	57	59	61	63	54	56	58	60	62	57	59	61
半袖丈	23	24	25	26.5	26.5	23	24	25	26.5	26.5	24	25	26.5
胸 囲	100	105	110	115	120	110	115	120	125	130	100	105	110

許容範囲 着丈 ±1cm
 胸囲 ±1cm
 袖丈 ±0.5cm
 肩巾 ±0.5cm

2 ズボン

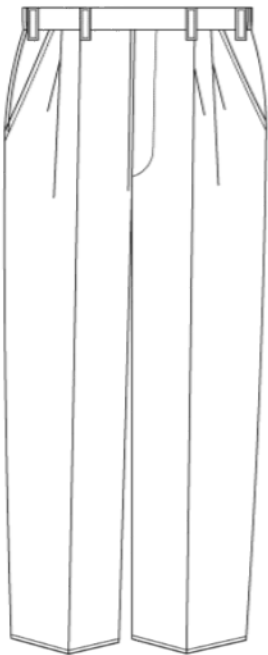
(1) 材料

ユニチカ U-3456 トロピカル 導電性繊維混入

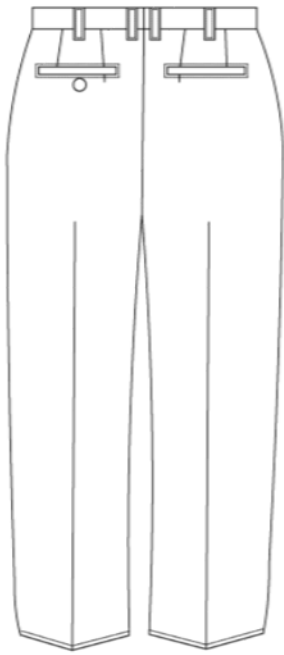
(2) 混紡率

再生ポリエステル70% ウール30%

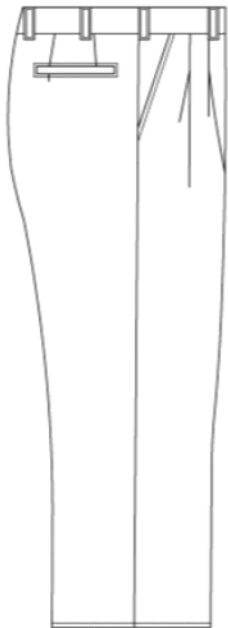
前面図



後面図



側面図



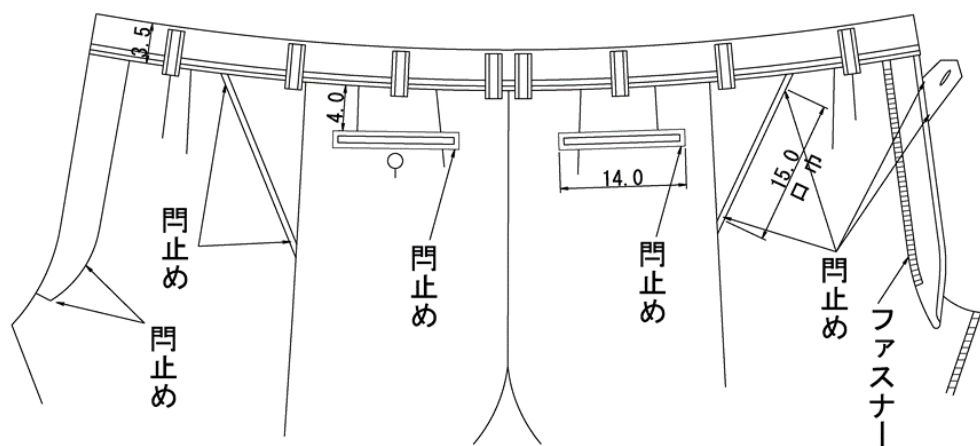
男性消防吏員制服夏型ズボン標準サイズ表

●単位:cm(出来上がりサイズ)

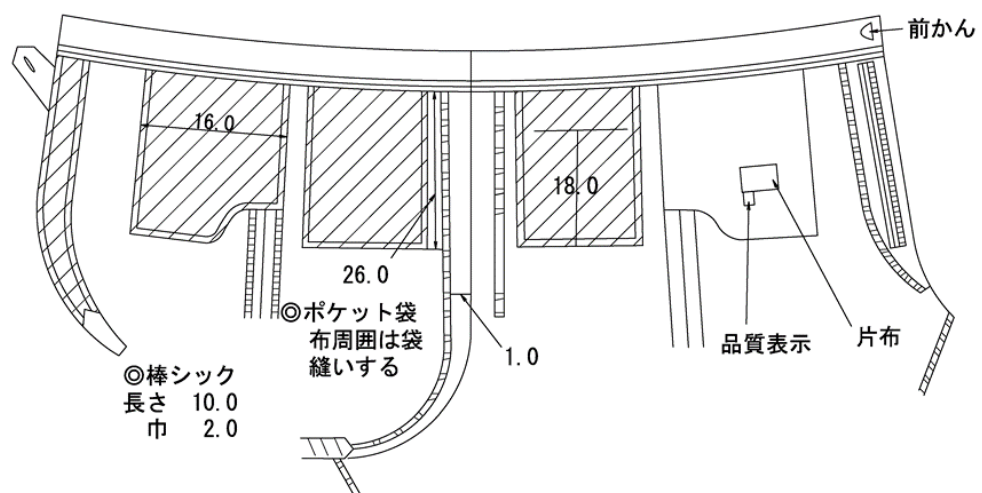
部位 \ サイズ	AS	AM	AL	ALL	A3L	BS	BM	BL	BLL	B3L	YM	YL	YLL
腰 囲	74	78	82	88	91	85	91	95	100	105	76	80	84
股 下	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー	フリー

許容範囲 腰囲 ±1cm
股下 ±1cm

腰部表



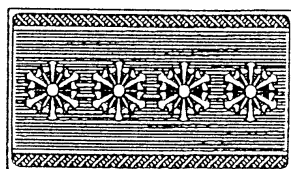
腰部裏



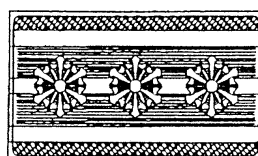
ADVANCE RANK BADGE
(アドバンス 階級章)

<消防吏員>

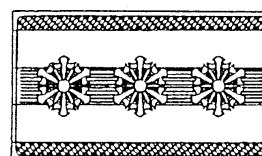
消防総監



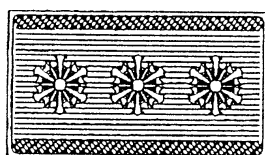
消防司令長



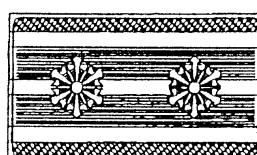
消防士長



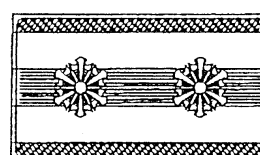
消防司監



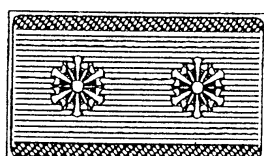
消防司令



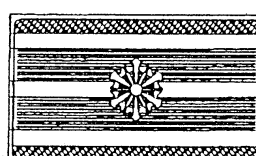
消防副士長



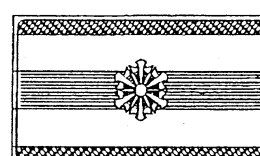
消防正監



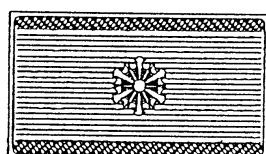
消防司令補



消防士



消防監



資料 2

品名 活動服（厚手）

仕様

1 形状

- （1）上衣はシャツ型、台襟付きシャツカラー、肩章付、前ファスナー開き、前後ヨーク、胸左右雨蓋付き切り込みポケット、袖口ボタン、バックプリント付とする。
- （2）ズボンはツータック、裾シングル又はフリータイプ、前ファスナー、後部左右片玉切込みポケット付き、両脇雨ブタ付きアコーディオンポケットとする。

2 使用素材

（1）素材メーカー

ア 表生地

東レ株式会社製の＜4 1 2 0＞紺色を使用する。

イ 配色生地

日本毛織株式会社製＜F X 1 3 0＞オレンジを使用する。

- （2）芯地 テترون芯 衿：織物芯
 雨ブタ、ポケット口、カフス、衿先トリミング、不織布
- （3）ボタン 四つ穴 1 5mm 径
 上 衣 肩章左右 1 個・カフス左右 2 個
 ズボン 天狗鼻止 1 個
- （4）面ファスナー 上衣前合せ部分に 3 個
 上衣左右胸ポケット雨ブタ・ズボン雨ブタ
- （5）ファスナー 上衣前合せ部分・ズボン前立て

3 縫製

（1）一般

- ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、はずれがない優良なものとする。
- イ 縫代は、各部分に適した十分なものとする。
- ウ 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がり目立たないものとする。
- エ 縫い目数は、次の数値を標準とする。
 - 地縫い運針数 1 2 針／3 c m 間
 - 飾りステッチ 1 2 針／3 c m 間
- オ 飾りステッチ幅は、約 0. 5 c m と端ミシンとする。
- カ 飾りステッチは、表ミシンとする。
- キ 釦穴は、ミシン穴かがりとする。
- ク 釦つけは機械付又は手付とする、手付は 2 本の糸を 1 個の穴に 3 ～ 4 回とおし根巻は 3 回以上とする。
- ケ アイロン仕上げは、品質管理を損わないようにする。
- コ 接着しんを使用する部分は、全て高温過熱式しん張プレス機を用いて前面接着をする。
- サ 布目は、パターン指定どおりにする。

（2）上衣

ア 襟

- (ア) 上襟の剣の長さは8 c mとし、幅は背中中4. 5 c mとする。(標準)
- (イ) 台襟幅は、背中心で4. 0 c mとする。(標準)
- (ウ) 台襟で上襟を挟み縫いし、身頃に縫いつける。
- (エ) 台襟下部は2条縫いし、下部の1条は裏を落とす。
- (オ) 上襟は縦地でとり、上襟の周囲に端ミシンをかけ、台襟に0. 6 c mの飾りステッチをかける。
- (カ) 表襟はゆとりをもたせ、折り返しをひかれぬようにする。
- (キ) 台襟中央に、表地共布又は織りテープの襟つりを縫い付ける。
- (ク) 上襟の表側周囲を1. 2 c m幅で配色地に切り返す。

イ 袖及びカフス

- (ア) 袖は2枚袖とし、袖の縫い合せは本縫いとする。
- (イ) インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。
- (ウ) 袖口はカフスボタン止めとし、のぼりをつけ中間にボタンを1個つける。
- (エ) 袖口カフスに芯を入れて、地縫い返しし、1条の0. 5 c mの飾りミシンステッチをかける。
外側に約2. 0 c mにヒダを2本取り、袖開きの方向に倒す。

ウ 袖付け

- (ア) 袖付けは身頃のくりをのばさないように本縫いし、インターロック又はオーバーロックをかける。

エ 脇縫い

- (ア) 本縫いし、インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりをする。

オ 前身頃

- (ア) 胸部にて切り返し、前ヨークをつける、インターロックまたは地縫い裁ち目オーバーロックかがり裁ち目は上側に倒し0. 6 c mの1条飾りミシン縫いとする。

カ 胸ポケット

- (ア) 左右前身頃の切り返しより下に切ポケット口を設ける。
- (イ) 口布は2 c m以上とし、身頃とはぎ、端ミシンをかける。
- (ウ) 身頃の裏より周囲の裁ち目をオーバーロックかがりした共地の袋地を、端ミシンと飾りミシンステッチのダブルステッチにて地縫いするか、周囲を折り返して、端ミシンと飾りミシンステッチのダブルステッチにて地縫いする。
- (エ) 口の上部中央に面ファスナーをつける。
- (オ) 雨蓋は小丸とし、芯を入れ、胸部の切り返しに挟み込んで取り付け、中央に面ファスナーをつける。
- (カ) 胸ポケット寸法は口巾13 c m、深さ14. 5 c mとし雨ブタは中央で5. 5 c mとする。

キ 前合せ

- (ア) 前合せの開閉は、ファスナー式とする。
- (イ) 上前裏は、前端より4 c m奥に2条ミシンで縫いつけ、ファスナーテープを身返しに挟み縫いする。
- (ウ) 下前は、ミシン身頃と身返しに挟み地縫い返しし、0. 5 c mの1条飾りミシンステッチ縫いにする。
- (エ) 上前に凸（フック）面、下前に凹（ループ）面（幅約2 c m、縦約3. 0 c m・表生地同色系）の面ファスナーを衿台より6 c m下に1個、腹部に1個、ファスナー中間位置に1個つける。

ク 後ヨーク

- (ア) 配色地の裏と表の2重とし前側は前身を挟み込んで端ミシンと飾りミシンステッチのダブル

ステッチ縫いをする。

(イ) 後身を挟み込む際に後身の左右に外倒しの壁を設けること。

(ウ) ヨークの幅は、中央で約19cmとする。

(エ) 背ヨークの表には、紺色の反射にて上段に「FIRE DEPARTMENT」の文字をアーチ状に圧着し、下段に「鹿島地方消防本部」の文字を圧着する。※6図面(3)参照

ケ ネーム

(ア) 胸ポケット雨蓋上部の押え縫い線(前ヨーク押え飾りミシン)から2.5cm上の位置に「名字」(12mm角大、楷書、左横書)オレンジ色の糸でミシン刺繍する。

(イ) 左胸ポケット中心部より左右均等となるように配列する。

コ 階級章

(ア) ポケット雨蓋上部押え縫い線(前ヨーク押え飾りミシン)から1.5cm上の位置に階級章取付用に面ファスナー(凹面・表地同色系)を縫い付ける。

(イ) 寸法は、幅約2.5cm 長さ約4.0cmとする。

サ 肩章

(ア) 巾は4.5cmとし、端を袖つけの縫い目に縫い込む。肩章の先は衿付け根部より3cm下った位置とする。

シ 裾

(ア) カッターシャツ裾とする。

(イ) 三ツ巻き縫いとする。

ス 氏名札及びサイズ札

(ア) 氏名札は上前裾部に、サイズ札は襟腰下部中央につける。

(3) ズボン(ツータック)

ア 両脇ポケット

(ア) 左右両脇に雨ブタ付きアウトポケットを各1個つける。

(イ) 雨ブタの両端2ヶ所に面ファスナーを縫い付け、中央に表生地で作成したループをつける。

(ウ) ポケットはアコーディオンポケットとし、後部および底部にマチを入れる。

(エ) 脇ポケット寸法は口巾15cm、深さ上門より27cm、袋巾16cmとする。

イ 尻ポケット

(ア) 片玉縁作りとし、左右に各1個つける。(玉縁作りミシン使用可)

(イ) 左右尻ポケットには雨蓋は付けない。

(ウ) ポケット周囲は端ミシンをかけ、口の両端は門止めをする。

(エ) 向当布は幅4cmとし、裁ち目はオーバーロックかがりとし、袋地に縫い付ける。

(オ) ポケット袋は、地縫い返しし、飾りステッチをかける。

(カ) 上端は、表裏とも必ず1cm以上腰帯にかかるようにする。

(キ) 尻ポケット寸法は口巾14cm、深さ18cmとする。

ウ 腰ダーツ

(ア) 左右腰部に2本とり、片倒しする。

エ 前たて

(ア) 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりする。

(イ) 天狗の鼻をつけ、先端にボタン穴をかがる。

(ウ) 前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目はしんと共にオーバーロックかがりする。

(エ) 前立て飾りは、幅3.5cmとする。

(オ) 天狗、前立て上部に座金前かんを付ける、位置は、腰帯幅の中央にする。

(カ) 小股の上のファスナー止まりに、天狗裏側から前立てと共に門を入れる。

オ ファスナー付け

(ア) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。

(イ) 前立て側は、前立て裏にファスナーの上端を二つ折りし、2条縫いで縫い付ける。

カ 脇縫い及び内股縫い

(ア) 地縫い割とし、二重縫い又は環縫いミシンとする。

(イ) 裁ち目はオーバーロックかがりする。

キ 尻縫い

(ア) 地縫い割とし、二重縫い又は環縫いミシンとする。

(イ) 上部の縫代は2 c m以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりする。

(ウ) 棒シックは、股ぐりにそって、ミシン縫いで浮かし付けとする。(ミシン目が表に出ない事。)

ク 腰裏

(ア) マーベルト、スレーキを使用し、前立て側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。

(イ) 後部(尻縫い目)は縫い割する。

(ウ) 後身側の腰裏の下端は、脇縫いの箇所、表生地に通して、門止めをする。

(エ) 腰裏は、バンドループの下側のミシン縫いで止める。

ケ 腰帯

(ア) 腰は3. 5 c mの腰帯付とする。

(イ) 腰帯芯には芯地幅33－58のダブルテープを入れる。

コ バンド通し

(ア) 前身頃タック・脇縫い・尻縫い脇・後身ポケット上の8本付けとする。

(イ) ループ作りは片側に四つ折り縫いとし、両端は端ミシン縫いし幅約2. 0 c m、長さ約5. 5 c mとする。

(ウ) 取付位置は、ズボン上端より約1 c m下りとし、上部は浮かして付ける。

(エ) バンド通し付けはミシン止めし、両端は本縫い2回以上とする。

サ 裾

(ア) 裾フリータイプ以外のものは、折り返し幅3 c m以上とし、地縫いする。

(イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりをするか、三ツ折り返しする。

シ 名札片布

(ア) 袋地に地縫いして取り付けること。

ス 品質表示

(ア) 氏名札の下部に表示する。

セ 警告ラベル

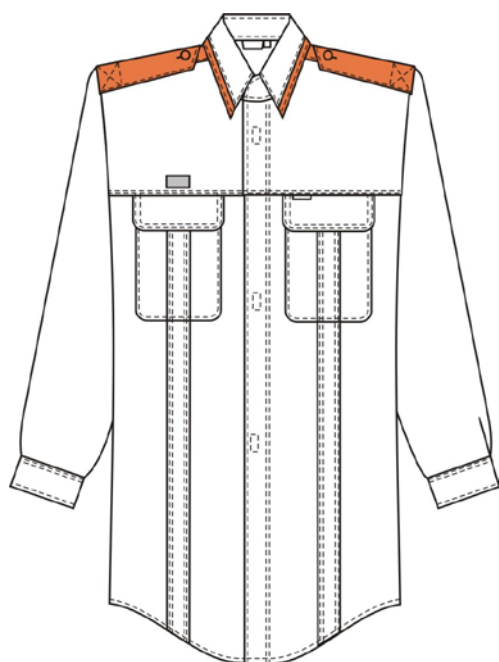
(ア) 警告ラベルを上衣とズボンに縫い付ける。

4 サイズ調整 袖・裾を伸縮すること。

5 階級章 1着ごとに指定した階級章を添付すること。

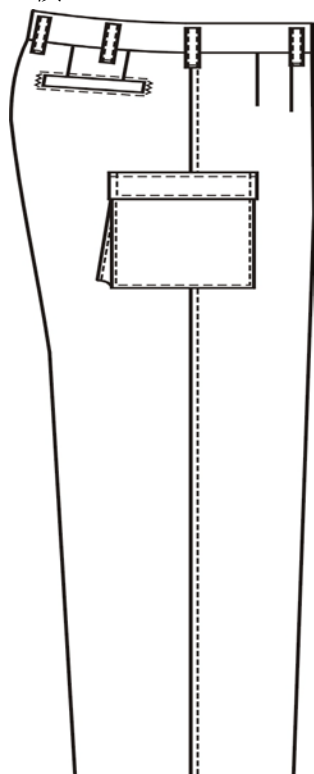
6 図面

(1) 上衣

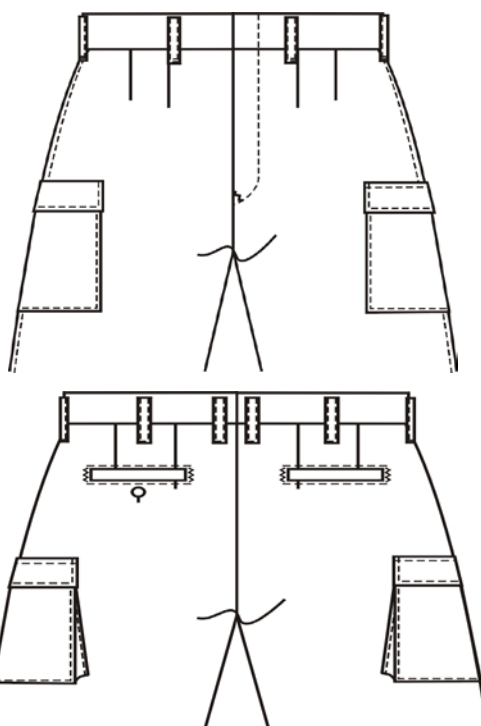


(2) ズボン

横



前



(3) バックプリント



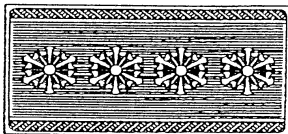
（４）階級章

マジックテープ

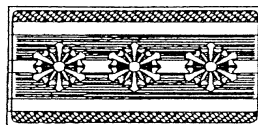
ADVANCE RANK BADGE （アドバンス 階級章）

<消防吏員>

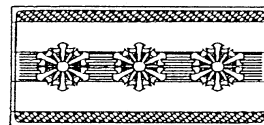
消防総監



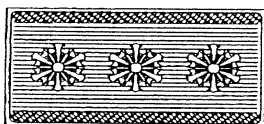
消防司令長



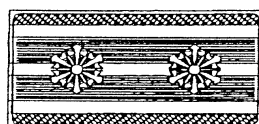
消防士長



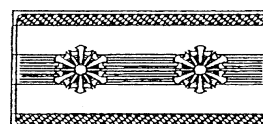
消防司監



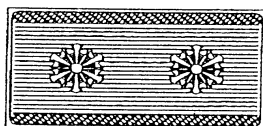
消防司令



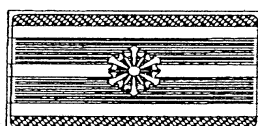
消防副士長



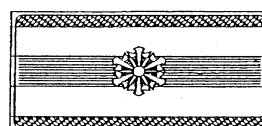
消防正監



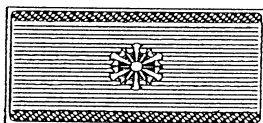
消防司令補



消防士



消防監



資料 3

品名 活動服（薄手）

仕様

1 形状

- (1) 上衣はシャツ型、台襟付きシャツカラー、肩章付、前ファスナー開き、前後ヨーク、胸左右雨蓋付き切り込みポケット、袖口ボタン、バックプリント付とする。
- (2) ズボンはツータック、裾シングル又はフリータイプ、前ファスナー、後部左右片玉切込みポケット付き、両脇雨ブタ付きアコーディオンポケットとする。

2 使用素材

(1) 素材メーカー

ア 表生地

東レ株式会社製の＜4180＞紺色を使用する。

イ 配色生地

日本毛織株式会社製＜FX130＞オレンジを使用する。

- (2) 芯地 テترون芯 衿：織物芯
 雨ブタ、ポケット口、カフス、衿先トリミング、不織布
- (3) ボタン 四つ穴15mm径
 上 衣 肩章左右1個・カフス左右2個
 ズボン 天狗鼻止1個
- (4) 面ファスナー 上衣前合せ部分に3個
 上衣左右胸ポケット雨ブタ・ズボン雨ブタ
- (5) ファスナー 上衣前合せ部分・ズボン前立て

3 縫製

(1) 一般

- ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、はずれがない優良なものとする。
- イ 縫代は、各部分に適した十分なものとする。
- ウ 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がり目立たないものとする。
- エ 縫い目数は、次の数値を標準とする。
 - 地縫い運針数 12針／3cm間
 - 飾りステッチ 12針／3cm間
- オ 飾りステッチ幅は、約0.5cmと端ミシンとする。
- カ 飾りステッチは、表ミシンとする。
- キ 釦穴は、ミシン穴かがりとする。
- ク 釦つけは機械付又は手付とする、手付は2本の糸を1個の穴に3～4回とおし根巻は3回以上とする。
- ケ アイロン仕上げは、品質管理を損わないようにする。
- コ 接着しんを使用する部分は、全て高温過熱式しん張プレス機を用いて前面接着をする。
- サ 布目は、パターン指定どおりにする。

(2) 上衣

ア 襟

(ア) 上襟の剣の長さは8cmとし、幅は背中で4.5cmとする。(標準)

- (イ) 台襟幅は、背中心で4.0cmとする。(標準)
- (ウ) 台襟で上襟を挟み縫いし、身頃に縫いつける。
- (エ) 台襟下部は2条縫いし、下部の1条は裏を落とす。
- (オ) 上襟は縦地でとり、上襟の周囲に端ミシンをかけ、台襟に0.6cmの飾りステッチをかける。
- (カ) 表襟はゆとりをもたせ、折り返しの厚みをひかれぬようにする。
- (キ) 台襟中央に、表地共布又は織りテープの襟つりを縫い付ける。
- (ク) 上襟の表側周囲を1.2cm幅で配色地に切り返す。

イ 袖及びカフス

- (ア) 袖は2枚袖とし、袖の縫い合せは本縫いとする。
- (イ) インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。
- (ウ) 袖口はカフス付きボタン止めとし、ノボリを付け中間にボタンを1個付ける。
- (エ) 袖口カフスに芯を入れて、地縫い返しし、1条の0.5cmの飾りミシンステッチをかける。
外側に約2.0cmにヒダを2本取り、袖開きの方向に倒す。

ウ 袖付け

- (ア) 袖付けは身頃のくりをのばさないように本縫いし、インターロック又はオーバーロックをかける。

エ 脇縫い

- (ア) 本縫いし、インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりをする。

オ 前身頃

- (ア) 胸部にて切り返し、前ヨークをつける、インターロックまたは地縫い裁ち目オーバーロックかがり裁ち目は上側に倒し0.6cmの1条飾りミシン縫いとする。

カ 胸ポケット

- (ア) 左右前身頃の切り返しより下に切ポケット口を設ける。
- (イ) 口布は2cm以上とし、身頃とはぎ、端ミシンをかける。
- (ウ) 身頃の裏より周囲の裁ち目をオーバーロックかがりした共地の袋地を、端ミシンと飾りミシンステッチのダブルステッチにて地縫いするか、周囲を折り返して、端ミシンと飾りミシンステッチのダブルステッチにて地縫いする。
- (エ) 口の上部中央に面ファスナーをつける。
- (オ) 雨蓋は小丸とし、芯を入れ、胸部の切り返しに挟み込んで取り付け、中央に面ファスナーをつける。
- (カ) 胸ポケット寸法は口巾13cm、深さ14.5cmとし雨ブタは中央で5.5cmとする。

キ 前合せ

- (ア) 前合せの開閉は、ファスナー式とする。
- (イ) 上前裏は、前端より4cm奥に2条ミシンで縫いつけ、ファスナーテープを身返しに挟み縫いする。
- (ウ) 下前は、ミシン身頃と身返しに挟み地縫い返しし、0.5cmの1条飾りミシンステッチ縫いにする。
- (エ) 上前に凸(フック)面、下前に凹(ループ)面(幅約2cm、縦約3.0cm・表生地同色系)の面ファスナーを衿台より6cm下に1個、腹部に1個、ファスナー中間位置に1個つける。

ク 後ヨーク

- (ア) 配色地の一枚仕立てとし前側は前身を挟み込んで端ミシンと飾りミシンステッチのダブルステッチ縫いをする。
- (イ) 後身を挟み込む際に後身の左右に外倒しの壁を設けること。

(ウ) ヨークの幅は、中央で約19cmとする。

(エ) 背ヨークの表には、紺色の反射にて上段に「FIRE DEPARTMENT」の文字をアーチ状に圧着し、下段に「鹿島地方消防本部」の文字を圧着する。※6図面(3)参照

ケ ネーム

(ア) 胸ポケット雨蓋上部の押え縫い線(前ヨーク押え飾りミシン)から2.5cm上の位置に「名
字」(12mm角大、楷書、左横書)オレンジ色の糸でミシン刺繍する。

(イ) 左胸ポケット中心部より左右均等となるように配列する。

コ 階級章

(ア) ポケット雨蓋上部押え縫い線(前ヨーク押え飾りミシン)から1.5cm上の位置に階級章
取付用に面ファスナー(凹面・表地同色系)を縫い付ける。

(イ) 寸法は、幅約2.5cm 長さ約4.0cmとする。

サ 肩章

(ア) 巾は4.5cmとし、端を袖つけの縫い目に縫い込む。肩章の先は衿付け根部より3cm下
った位置とする。

シ 裾

(ア) カッターシャツ裾とする。

(イ) 三ツ巻き縫いとする。

ス 氏名札及びサイズ札

(ア) 氏名札は上前裾部に、サイズ札は襟腰下部中央につける。

(3) ズボン(ツータック)

ア 両脇ポケット

(ア) 左右両脇に雨ブタ付きアウトポケットを各1個つける。

(イ) 雨ブタの両端2ヶ所に面ファスナーを縫い付け、中央に表生地で作成したループをつける。

(ウ) ポケットはアコーディオンポケットとし、後部および底部にマチを入れる。

(エ) 脇ポケット寸法は口巾15cm、深さ上門より27cm、袋巾16cmとする。

イ 尻ポケット

(ア) 片玉縁作りとし、左右に各1個つける。(玉縁作りミシン使用可)

(イ) 左右尻ポケットには雨蓋は付けない。

(ウ) ポケット周囲は端ミシンをかけ、口の両端は門止めをする。

(エ) 向当布は幅4cmとし、裁ち目はオーバーロックかがりとし、袋地に縫い付ける。

(オ) ポケット袋は、地縫い返しし、飾りステッチをかける。

(カ) 上端は、表裏とも必ず1cm以上腰帯にかかるようにする。

(キ) 尻ポケット寸法は口巾14cm、深さ18cmとする。

ウ 腰ダーツ

(ア) 左右腰部に2本とり、片倒しする。

エ 前たて

(ア) 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりする。

(イ) 天狗の鼻をつけ、先端にボタン穴をかがる。

(ウ) 前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目はしんと共にオーバーロックかがりす
る。

(エ) 前立て飾りは、幅3.5cmとする。

(オ) 天狗、前立て上部に座金前かんを付ける、位置は、腰帯幅の中央にする。

(カ) 小股の上のファスナー止まりに、天狗裏側から前立てと共に門を入れる。

オ ファスナー付け

- (ア) 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
- (イ) 前立て側は、前立て裏にファスナーの上端を二つ折りし、2条縫いで縫い付ける。

カ 脇縫い及び内股縫い

- (ア) 地縫い割とし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (イ) 裁ち目はオーバーロックかがりする。

キ 尻縫い

- (ア) 地縫い割とし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- (イ) 上部の縫代は2cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりする。
- (ウ) 棒シックは、股ぐりにそって、ミシン縫いで浮かし付けとする。(ミシン目が表に出ない事。)

ク 腰裏

- (ア) マーベルト、スレーキを使用し、前立て側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。
- (イ) 後部(尻縫い目)は縫い割する。
- (ウ) 後身側の腰裏の下端は、脇縫いの箇所で、表生地に通して、門止めをする。
- (エ) 腰裏は、バンドループの下側のミシン縫いで止める。

ケ 腰帯

- (ア) 腰は3.5cmの腰帯付とする。
- (イ) 腰帯芯には芯地幅33-58のダブルテープを入れる。

コ バンド通し

- (ア) 前身頃タック・脇縫い・尻縫い脇・後身ポケット上の8本付けとする。
- (イ) ループ作りは片側に四つ折り縫いとし、両端は端ミシン縫いし幅約2.0cm、長さ約5.5cmとする。
- (ウ) 取付位置は、ズボン上端より約1cm下りとし、上部は浮かして付ける。
- (エ) バンド通し付けはミシン止めし、両端は本縫い2回以上とする。

サ 裾

- (ア) 裾フリータイプ以外のものは、折り返し幅3cm以上とし、地縫いする。
- (イ) 裁ち目は、オーバーロックかがりをするか、三ツ折り返しする。

シ 名札片布

- (ア) 袋地に地縫いして取り付けること。

ス 品質表示

- (ア) 氏名札の下部に表示する。

セ 警告ラベル

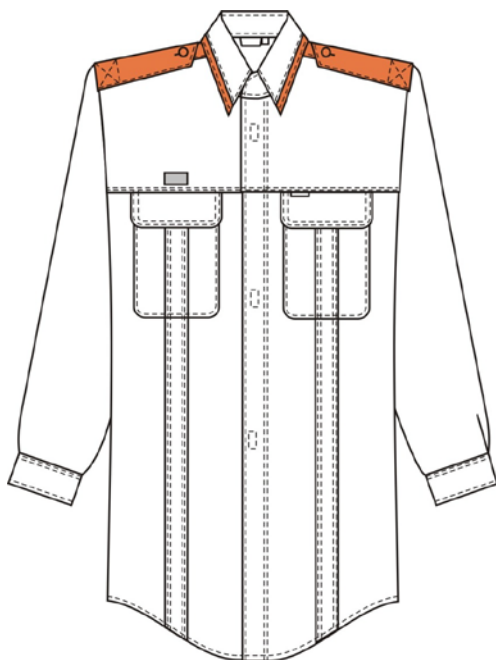
- (ア) 警告ラベルを上衣とズボンに縫い付ける。

4 サイズ調整 袖・裾を伸縮すること。

5 階級章 1着ごとに指定した階級章を添付すること。

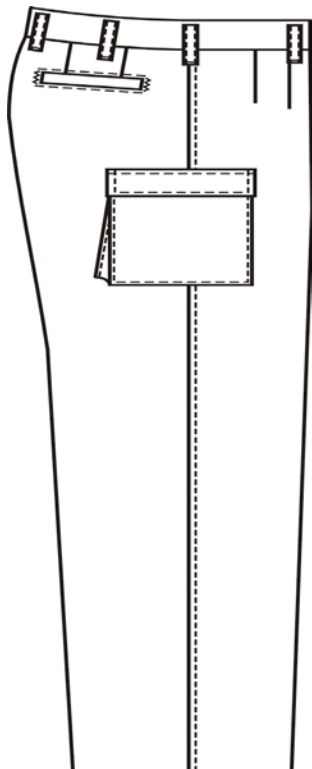
6 図面

(1) 上衣

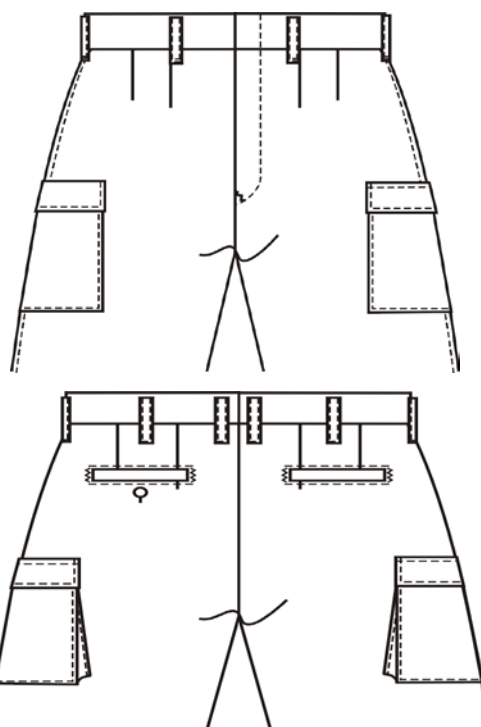


(2) ズボン

横



前



(3) バックプリント



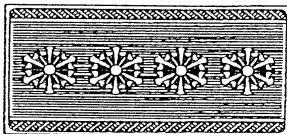
(4) 階級章

マジックテープ

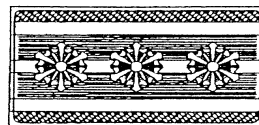
ADVANCE RANK BADGE
(アドバンス 階級章)

<消防吏員>

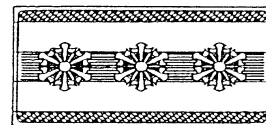
消防総監



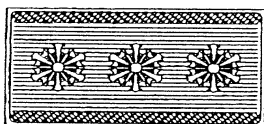
消防司令長



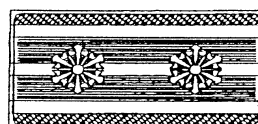
消防士長



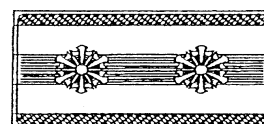
消防司監



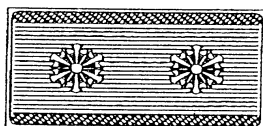
消防司令



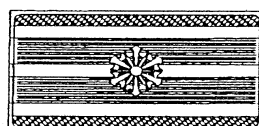
消防副士長



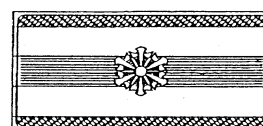
消防正監



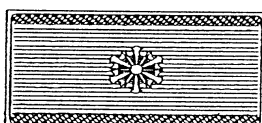
消防司令補



消防士



消防監



資料 4

品名 冬救急服 上・下（エミユファイター 上衣 TA1410、ズボン TA-1）

1. 使用材料

1) 生地一般

ア. 原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどない良質のものを使用するものとする。

イ. 織り上がりは均整で、織キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする。

ウ. 上衣・ズボンの生地については、共にストレッチ性の高い生地を使用すること。

2) 主材料

上衣生地

項 目	規 格
品 名	ストレッチ ダストップ®SP ピケ
品 番	T85445
混 紡 率	ポリエステル 100% (導電性繊維 1.5cm 当り 1 本入り)
糸 番 手	ポリエステル 167Tx 167T
密 度	182×122 (インチ間)
重 量	240 g/m ²
色 相	薄グレー系色 (襟部のみ白色)

ズボン生地

項 目	規 格
品 名	サキソニー
品 番	TJ204B
混 紡 率	ポリエステル 69.5% ウール 30% 制電繊維 0.5%
糸 番 手	タテ、ヨコ共 52 番手双糸 (E.C.C 換算)
密 度	275×235 本以上 (10cm 間)
重 量	225 g/m ²
色 相	濃グレー系色

補助材料

使 用 箇 所	規 格
芯 地	ポリエステルと綿を平織接着
釦	グレー系色 15mm、13mm、10mm
替 襟	ポリエステルと綿の平織 淡いクリーム色
肩 章 覆 い	3Mホワイト (反射布)
面ファスナー	グレー系色 20mm×30mm オス・メス (前合せ) 25mm×40mm メス (階級台)
ファスナー	YKK製

2. 形状

- 1) 上衣は、人間工学（エルゴノミックス）をベースにしたデザインを施したものとする。
- 2) 上衣は、前合せファスナー開閉式とする。長袖型（カフス付）、雨蓋付き左右アウトポケット、左袖メス面ファスナーB面、両肩肩章付きとする。
- 3) ズボンはウエスト伸縮構造（活動性を考慮し、裏ゴム伸縮式に限る）を用いて、外向きワンタック、前合せファスナー開閉式及び前カン開きとし、左右脇斜め切りポケット、及び尻ポケット付きとする。

3. 縫製

一般

- ア. 各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。
- イ. 縫い目の飛び、外れがないこと。
- ウ. 糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、縫い始め、縫い終わりに返し縫いをする。
- エ. 縫い目数は指定通りにすること。

地縫い運針数	12 針以上／3cm 間
飾りステッチ運針数	〃 ／ 〃
- オ. 飾りステッチは表ミシンとすること。
- カ. 各部の合標、曲線は充分注意すること。
- キ. 接着芯はアイロンを用いて全面接着とすること。
- ク. 布地の目は正確に取ること。

4. 上衣

1) 襟

- ア. 上襟は縦地に使い、剣の長さは約 7cm とし、背中心で約 4.5cm とする。
- イ. 襟は白襟とする。
- ウ. 台襟に替え襟取り付け用釦を 5 ヶ所縫い付ける。

2) 前身頃

- ア. 前合せはファスナーと面ファスナーの開閉式とする。
- イ. 左前身頃は、幅約 4cm の比翼仕立てとする。
- ウ. 右胸に階級章取り付け用B面の面ファスナーを縫い付ける。

3) 胸ポケット

- ア. 左右前身頃に挿みヒダ付きアウトポケットを付ける。
- イ. ポケットは端ミシンで縫い付ける。
- ウ. ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。

- エ. ポケット上部中央に、面ファスナーB面を付ける。
- オ. 雨蓋裏面に面ファスナーA面を付け、地縫いの上飾り縫いとする。
- カ. 左前雨蓋右側にペン差し穴をあける。

4) 後身頃

- ア. 一枚物水平型でヨーク下部、後身頃の上裁ち目にインターロックを掛け、片倒し幅約 0.5cm の飾りステッチをする。

5) 袖（長袖）

- ア. 袖は1枚とし袖口にタックをとる。
- イ. 着用左側の肩位置より8cm下部分へ面ファスナーBを縫い付ける。
面ファスナーのサイズについては当本部と協議する。
- ウ. カフスは接着芯を貼り、地縫い返しをし、幅約 0.5cm の飾りステッチをする。
- エ. カフスは、釦開閉式とする。(概要図参照)

6) 肩章

両肩に適宜の位置に、上衣生地で肩章を付ける。

7) 脇縫い及び袖縫い

インターロック縫いとする。

8) 裾縫い

三つ巻き縫いとする。

9) 片布

左前身頃胸ポケット裏側に氏名片布を、左前身頃裾裏側に品質クロスを縫い付ける。

10) 刺繍

左胸ポケット上部に鹿島地方消防本部の文字（12mm角大、楷書、左横書）をポケット中心部より左右均等になるように黒色の糸でミシン刺繍すること。

11) バックプリント

後身頃上部上段に指定した文字で「F I R E D E P A R T M E N T」とアーチ状に黒色でプリントを施し、下部には「鹿島地方消防本部」の文字をプリントする。(概要図参照)

(プリントの剥がれを防止する観点から、熱圧着プリントは不可とする。)

12) 階級章

1着ごとに指定したアドバンス階級章を添付すること。

13) サイズ調整

指定がある場合、袖を伸縮すること。(延長3着、短縮2着あり。)

5. ズボン

1) タック

前身頃は左右各1本を外向きに付け、後身頃は左右各2本を縫いけしでとる。

2) 腰帯

- ア. 巾約 4cm とし、芯地入りで、腰裏を付け、落としミシンがけとし両端に前カンを付ける。
- イ. ウエスト伸縮構造（裏ゴム伸縮式／見本を参照すること。ギャザー式・金属・樹脂式は不可）を用いて左右約 2 cm 拡張出来るようにする。

3) ベルト通し

左右前身頃及び後身頃中心の 3 ヶ所に巾約 5 cm のループを縫い付け、左右両脇巾約 2.5 cm のループを縫い付ける。

4) 脇ポケット

斜め切りポケットを左右に付け、口巾約 18 cm、向当て布を付け口は 0.6 cm の飾りミシン縫いとし、上下口端をかん止めする。右袋内に小物ポケットを縫い付ける。

5) 尻ポケット

上端より約 9 cm 下りに、口巾約 16.5 cm、深さ約 19 cm の貼りポケットを左右両側に縫い付ける。上部約 4.5 cm より下に中央で内側のひだをとり、角は小丸とする。

6) 前立て・天狗

前立ては芯地を貼りファスナーを縫い付ける。天狗鼻付きとする。前身頃との間にファスナーを挟み縫いし、下部をカン止めする。

7) 棒シック

天狗裏続きとする。

8) 片布・サイズマーク

上前脇ポケット袋地に両方を縫い付ける。

6. 寸法

(単位 cm)

(上衣)

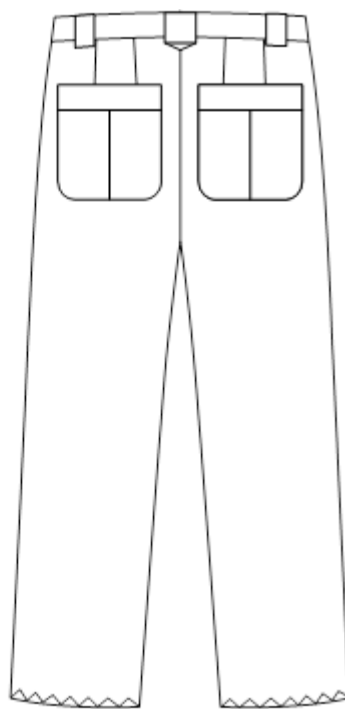
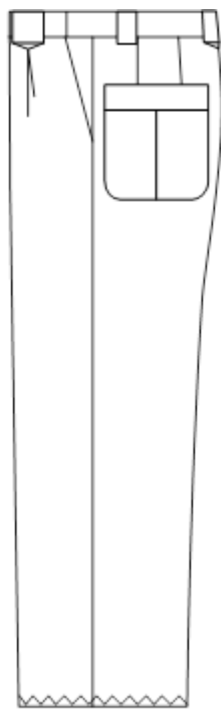
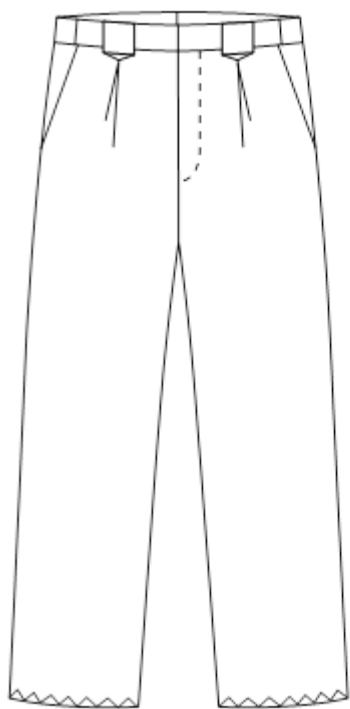
サイズ	首廻	着丈	肩巾	胸囲	長袖丈
AS	37	72	47	100	53
AM	39	74	49	105	55
AL	42	76	51	110	57
ALL	45	78	53	115	59
BM	41	75	52	115	54
BL	43	78	54	120	56
BLL	45	78	56	125	58
B3L	47	80	58	130	60
B4L	47	82	60	135	62
B5L	47	85	63	140	63.5
特 ALL	45	83	53	115	63
特 BLL	45	83	56	125	62

(ズボン)

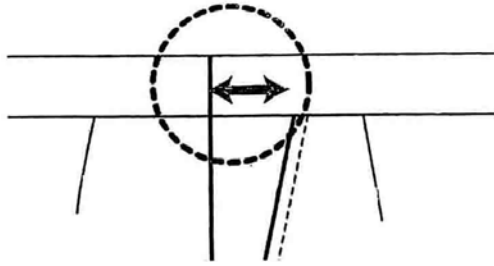
サイズ	腰 囲	股上(腰下)	渡り巾	裾 巾	股 下
1 号	73	24.0	35.5	23.5	85 ハーフ
2 号	76	24.0	35.5	24.0	
3 号	79	24.5	35.5	24.0	
4 号	82	24.5	36.0	24.5	
5 号	85	25.0	37.0	24.5	
6 号	88	25.0	38.0	25.0	
7 号	91	25.5	38.5	25.0	
8 号	95	25.5	39	25.5	
W100	100		40	25.5	
W105	105		41.5	25.5	
W110	110		43	25.5	
W115	115		44.5	25.5	
W120	120		46	25.5	

7. 附則

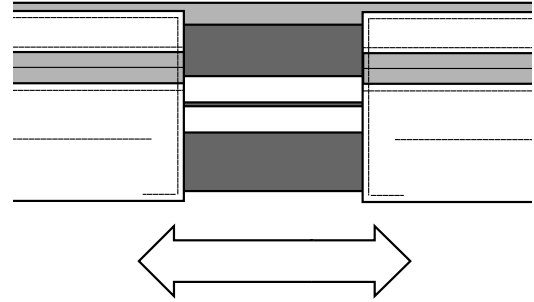
入札参加業者は、入札時に紡績メーカーが発行した出荷証明書並びに品質証明書を提出すること。



ウエスト伸縮構造



ウエスト伸縮構造裏ゴム式概要図



資料5

品名 夏救急服 上・下(エミュファイター 上衣 TA1403 長袖、TA1403 半袖、ズボン TA-2)

1. 使用材料

1) 生地一般

ア. 原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどない良質のものを使用するものとする。

イ. 織り上がりは均整で、織キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする。

ウ. 上衣・ズボンの生地については、共にストレッチ性の高い生地を使用すること。

2) 主材料

上衣生地

項 目	規 格
品 名	キュプラ混高通気 ダストップ®SP トリコット
品 番	T 4 5 0 3 5
混 紡 率	ポリエステル 8 5 % キュプラ 1 5 % (導電性繊維 1. 5 c m 当り 1 本入り)
糸 番 手	ポリエステル 8 4 T、5 6 T、3 3 T キュプラ 8 4 T
密 度	コース 5 5 × ウェル 4 0 本以上 (インチ間)
重 量	1 5 5 g / m ²
色 相	薄グレー系色 (襟部のみ白色)

ズボン生地

項 目	規 格
品 名	トロピカル
品 番	T J 2 0 4 C
混 紡 率	ポリエステル 6 9 . 5 % ウール 3 0 % 制電繊維 0 . 5 %
糸 番 手	タテ、ヨコ共 6 0 番手双糸 (E . C . C 換算)
密 度	2 1 5 × 1 9 5 本以上 (1 0 c m 間)
重 量	1 6 5 g / m ²
色 相	濃グレー系色

補助材料

使用箇所	規 格
芯 地	ポリエステルと綿を平織接着
釦	グレー系色 1 5 m / m、1 3 m / m、1 0 m / m
替 襟	ポリエステルと綿の平織 淡いクリーム色
肩章覆い	3Mホワイト (反射布)
面ファスナー	グレー系色 2 0 m m × 3 0 m m オス・メス (前合せ) 2 5 m m × 4 0 m m メス (階級台)
ファスナー	YKK製

2. 形状

- 1) 上衣は、人間工学（エルゴノミックス）をベースにしたデザインを施したものとする。
- 2) 上衣は、前合せファスナー開閉式とする。長袖型（カフス付）、雨蓋付き左右アウトポケット、左袖メス面ファスナーB面、両肩肩章付きとする。
- 3) ズボンはウエスト伸縮構造（活動性を考慮し、裏ゴム伸縮式に限る）を用いて、外向きワンタック、前合せファスナー開閉式及び前カン開きとし、左右脇斜め切りポケット、及び尻ポケット付きとする。

3. 縫製

一般

- ア. 各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。
- イ. 縫い目の飛び、外れがないこと。
- ウ. 糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、縫い始め、縫い終わりに返し縫いをする。
- エ. 縫い目数は指定通りにすること。

地縫い運針数	12 針以上／3cm 間
飾りステッチ運針数	〃 / 〃
- オ. 飾りステッチは表ミシンとすること。
- カ. 各部の合標、曲線は充分注意すること。
- キ. 接着芯はアイロンを用いて全面接着とすること。
- ク. 布地の目は正確に取ること。

4. 上衣

1) 襟

- ア. 上襟は縦地に使い、剣の長さは約 **7cm** とし、背中心で約 **4.5cm** とする。
- イ. 襟は白襟とする。
- ウ. 台襟に替え襟取り付け用釦を **5** ヶ所縫い付ける。

2) 前身頃

- ア. 前合せはファスナーと面ファスナーの開閉式とする。
- イ. 左前身頃は、幅約 **4cm** の比翼仕立てとする。
- ウ. 右胸に階級章取り付け用B面の面ファスナーを縫い付ける。

3) 胸ポケット

- ア. 左右前身頃に挿みヒダ付きアウトポケットを付ける。
- イ. ポケットは端ミシンで縫い付ける。
- ウ. ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。

- エ. ポケット上部中央に、面ファスナーB面を付ける。
- オ. 雨蓋裏面に面ファスナーA面を付け、地縫いの上飾り縫いとする。
- カ. 左前雨蓋右側にペン差し穴をあける。
- 4) 後身頃
 - ア. 一枚物水平型でヨーク下部、後身頃の上裁ち目にインターロックを掛け、片倒し幅約 0.5cm の飾りステッチをする。
- 5) 袖（長袖）
 - ア. 袖は1枚とし袖口にタックをとる。
 - イ. 着用左側の肩位置より8cm下部分へ面ファスナーBを縫い付ける。
面ファスナーのサイズについては当本部と協議する。
 - ウ. カフスは接着芯を貼り、地縫い返しをし、幅約 0.5cm の飾りステッチをする。
 - エ. カフスは、釦開閉式とする。(概要図参照)
- 6) 袖（半袖）
 - ア. 袖は一枚裁ちとし袖縫い付けは袖底で縫い付ける。
 - イ. 袖口先端は表に折り返し飾りミシンをかける。
 - ウ. 着用左側の肩位置より8cm下部分へ面ファスナーBを縫い付ける。
面ファスナーのサイズについては当本部と協議する。
- 7) 肩章
 - 両肩に適宜の位置に、上衣生地で肩章を付ける。
- 8) 脇縫い及び袖縫い
 - インターロック縫いとする。
- 9) 裾縫い
 - 三つ巻き縫いとする。
- 10) 片布
 - 左前身頃胸ポケット裏側に氏名片布を、左前身頃裾裏側に品質クロスを縫い付ける。
- 11) 刺繍
 - 左胸ポケット上部に鹿島地方消防本部の文字（12mm角大、楷書、左横書）をポケット中心部より左右均等になるように黒色の糸でミシン刺繍すること。
- 12) バックプリント
 - 後身頃上部上段に指定した文字で「FIRE DEPARTMENT」とアーチ状に黒色でプリントを施し、下部には「鹿島地方消防本部」の文字をプリントする。(概要図参照)
 - (プリントの剥がれを防止する観点から、熱圧着プリントは不可とする。)
- 13) 階級章
 - 1着ごとに指定したアドバンス階級章を添付すること。

14) サイズ調整

長袖で指定がある場合、袖を伸縮すること。(延長1着、短縮1着あり。)

5. ズボン

1) タック

前身頃は左右各1本を外向きに付け、後身頃は左右各2本を縫いけしでとる。

2) 腰帯

ア. 巾約4cmとし、芯地入りで、腰裏を付け、落としミシンがけとし両端に前カンを付ける。

イ. ウエスト伸縮構造(裏ゴム伸縮式/見本を参照すること。ギャザー式・金属・樹脂式は不可)を用いて左右約2cm拡張出来るようにする。

3) ベルト通し

左右前身頃及び後身頃中心の3ヶ所に巾約5cmのループを縫い付け、左右両脇巾約2.5cmのループを縫い付ける。

4) 脇ポケット

斜め切りポケットを左右に付け、口巾約18cm、向当て布を付け口は0.6cmの飾りミシン縫いとし、上下口端をかん止めする。右袋内に小物ポケットを縫い付ける。

5) 尻ポケット

上端より約9cm下りに、口巾約16.5cm、深さ約19cmの貼りポケットを左右両側に縫い付ける。上部約4.5cmより下に中央で内側のひだをとり、角は小丸とする。

6) 前立て・天狗

前立ては芯地を貼りファスナーを縫い付ける。天狗鼻付きとする。前身頃との間にファスナーを挟み縫いし、下部をカン止めする。

7) 棒シック

天狗裏続きとする。

8) 片布・サイズマーク

上前脇ポケット袋地に両方を縫い付ける。

6. 寸法

(単位 cm)

(上衣)

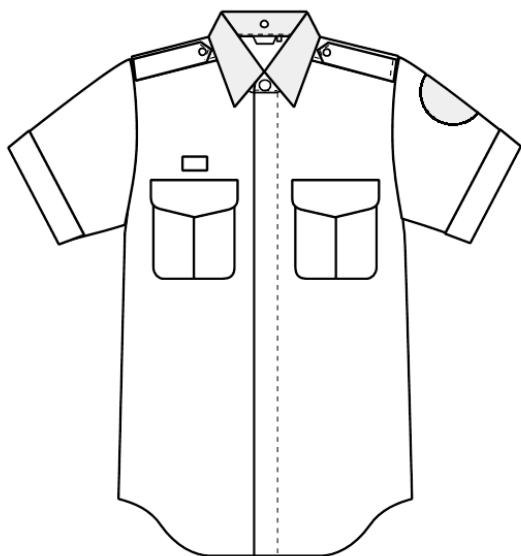
サイズ	首廻	着丈	肩巾	胸囲	長袖丈	半袖丈
AS	37	72	47	100	53	22
AM	39	74	49	105	55	23
AL	42	76	51	110	57	24
ALL	45	78	53	115	59	25
BM	41	75	52	115	54	23
BL	43	78	54	120	56	24
BLL	45	78	56	125	58	25
B3L	47	80	58	130	60	26
B4L	47	82	60	135	62	27
B5L	47	85	63	140	63.5	28
特 ALL	45	83	53	115	63	
特 BLL	45	83	56	125	62	

(ズボン)

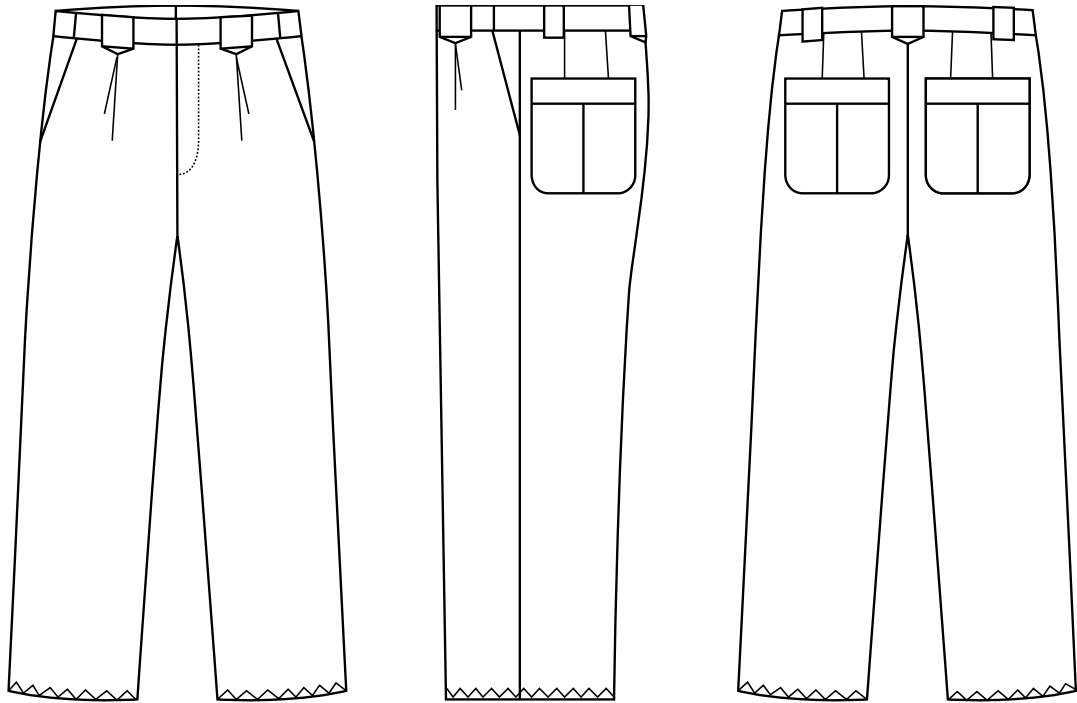
サイズ	腰 囲	股上(腰下)	渡り巾	裾 巾	股 下
1 号	73	24.0	35.5	23.5	85 ハーフ
2 号	76	24.0	35.5	24.0	
3 号	79	24.5	35.5	24.0	
4 号	82	24.5	36.0	24.5	
5 号	85	25.0	37.0	24.5	
6 号	88	25.0	38.0	25.0	
7 号	91	25.5	38.5	25.0	
8 号	95	25.5	39	25.5	
W100	100		40	25.5	
W105	105		41.5	25.5	
W110	110		43	25.5	
W115	115		44.5	25.5	
W120	120		46	25.5	

7. 附則

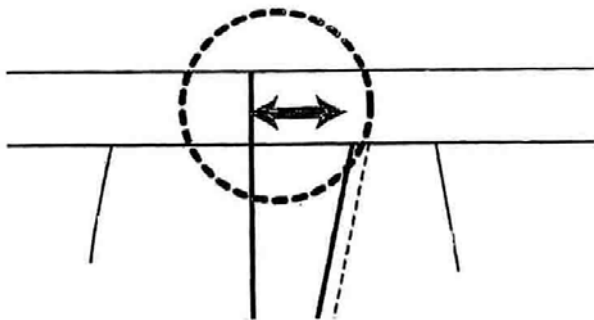
入札参加業者は、入札時に紡績メーカーが発行した出荷証明書並びに品質証明書を提出すること。



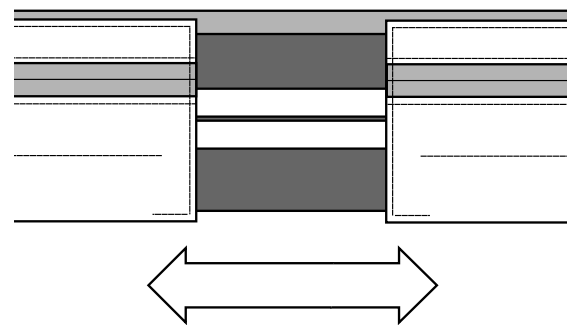
ズボン



ウエスト伸縮構造



ウエスト伸縮構造裏ゴム式概要図



資料6

品名 アポロキャップ (4120*W 刺繍ワッペン型)

1 消防本部名

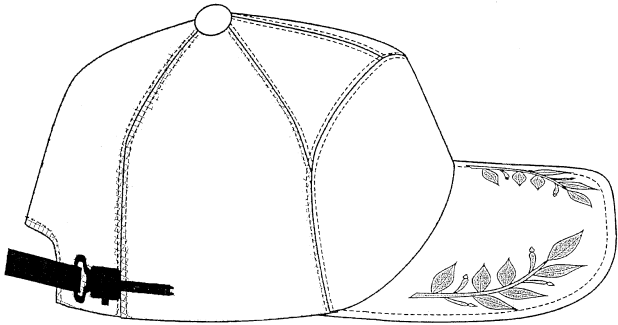
着帽時の左側第二レンゲに「鹿島地方消防本部」と銀糸で刺繍する。

2 サイズ規格

単位：c m

S	M	L	LL	LLL
(55～56)	(56～57)	(58～59)	(60～61)	(62～63)

3 参考図



資料 7

品名 アポロキャップ (4180*W 刺繍ワッペン型)

1 消防本部名

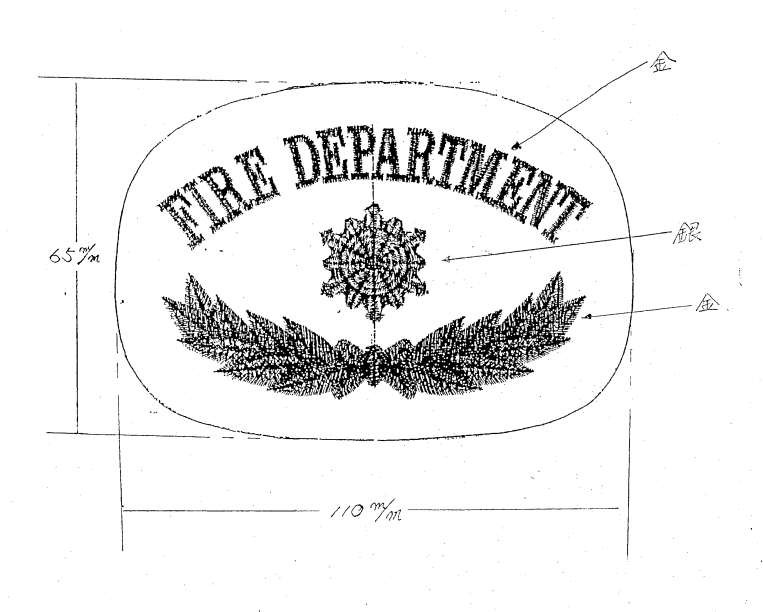
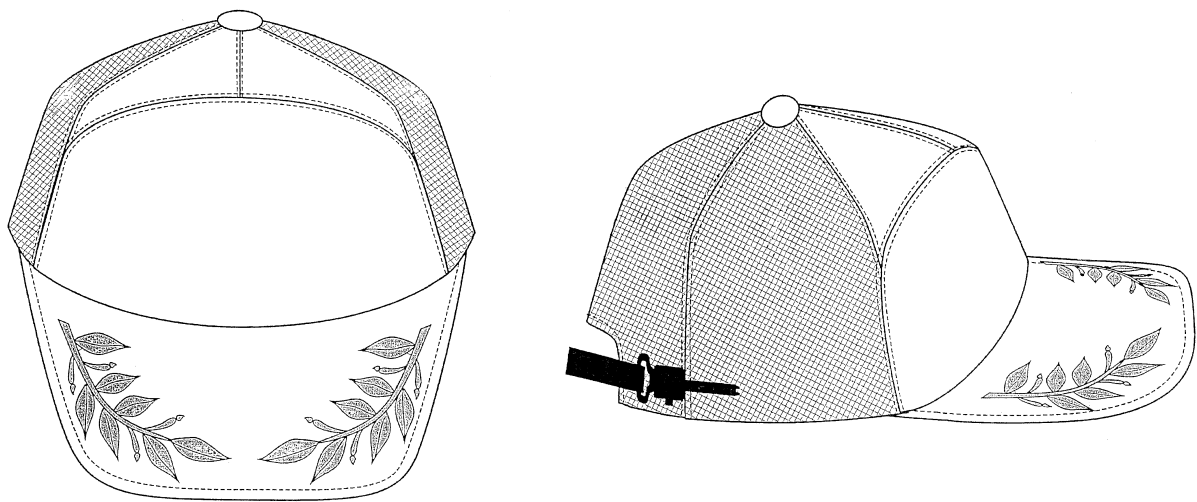
着帽時の左側第二レンゲに「鹿島地方消防本部」と銀糸で刺繍する。

2 サイズ規格

単位：c m

S	M	L	LL	LLL
(55～56)	(56～57)	(58～59)	(60～61)	(62～63)

3 参考図



資料 8

品名 ブルゾン 87JQ-093

1 材料等

(1) 表生地

色相は、紺色（指定色：パステルネイビー）とする。表生地は織傷、糸節、汚れ等のないもので、下記の規格に合格するものとする。

(2) 規格

項 目			規 格		試験方法
組織			ストライプドビー		—
混用率			ポリエステル 100%		—
見掛番手		経	75d／36f		—
		緯	75d／36f		
重量			103／㎡以上		—
密度（1 インチ間）		経	164 本		—
		緯	106 本		
寸法変化率		経	－2～＋1%以内		JIS L 0217 103 法
		緯	－2～＋1%以内		
染色堅牢度	汗 酸	変退色	4 級以上		JIS L 0848
		汚染	4 級以上		
	洗濯	変退色	4 級以上		JIS L 0844
		汚染	3－4 級以上		
	摩擦	乾燥	4 級以上		JIS L 0849 II 形
	耐光	変退色	3－4 級以上		JIS L 0842
引張強さ		経	300N 以上		JIS L 1096 A 法
		緯	300N 以上		
引裂強さ		経	8N 以上		JIS L 1096 D 法
		緯	8N 以上		
ピリング			3 級以上		JIS L 1076 A

(3) 付属材料

区 分	仕 様	用 途
裏 地	裏地本体 : ポリエステル 100% 裏地後身頃上部生地 : 吸湿発熱素材 染色堅牢度全般 : 4 級以上 寸法変化 : −3〜+1%以内 色調 : 当局指定色	背 裏 袖 裏
芯 地	良質なものを。	外衿、前立裏、雨よけ、ポケット玉縁
ファスナー	YKK 5 番または同等品以上	フロント ポケット
縫 糸	ポリエステル糸の細番手 (50〜60)	

2 形式

- (1) 立ち衿型、雨除け付き面ファスナー4点止め、前立て、前後ヨークから袖にかけて反射パイピング入り切り替え、左右ポケット2個、胸ポケット1個、前立て下ポケット1個、袖口は面ファスナーで調整できる仕様とする。

3 縫製要領

- (1) 各部の縫い合わせは、優良で、縫い代は十分であること。
- (2) 縫い目のめとびは、縫い外れのしないこと。
- (3) 糸調子は良好で、縫い目曲がり、縫い縮みがないようにし、折り返し針は完全にすること。
- (4) 針数は、地縫い3cm間11針以上、飾りステッチは3cm間11～13針、オーバーロックは3cm間8針以上とする。
- (5) 各部の縫い目はあたりなく始末する。
- (6) 裁断の型入れは、布目を通し1着1方向とし、反取りを原則とする。
- (7) 衿先左右、腰ポケットの左右バランスが取れていること。

4 縫製仕様

- (1) 衿
 - ア 外衿に芯地、内衿に中綿と高密度織物表地を入れること。
 - イ 衿幅は後中心で10cm±5mm（サイズピッチ有）とする。
- (2) 身頃
 - ア 前後ヨークから袖にかけて切り替える。切り替えには反射パイピングを入れる。
 - イ 胸ポケットの上部にはマイク用のループを付ける。
 - ウ 左胸にオレンジ色糸で「鹿島地方消防本部」と刺繍し、背中上部上段に「茨城」下段に「鹿島地方消防本部」とオレンジ色反射文字でプリントすること。※5 参考図参照
- (3) 前立て
 - ア 2重の前立て仕様で下前立てには雨除けの折り返しを施す。
 - イ 前立て下には表から使用できる内ポケットを付ける。
 - ウ 前あわせは面ファスナーで4点止め仕様とする。
 - エ 前ファスナーの付け始めと付け終わりはカン止めを施す。
- (4) 胸ポケット
 - ア 胸ポケット、腰ポケットはファスナー付きでスライダーにはハンドループを付ける。
 - イ 胸ポケットの袋地端は吊り布でアームホールに固定する。
- (5) 脇から袖下
 - ア 本縫いし、更にオーバーロックミシン又はインターロックミシン掛けとする。
- (6) チンガード
 - ア 肌に当たる側はポリエステル100%メッシュ素材を使用する。
 - イ ファスナー噛み防止のステッチとカン止めを施す。
- (7) 中綿
 - ア 部位により中綿グラム数を変える。（後身上部100g、内衿、前見返し、前身裏、後身下部80g、袖裏、上前立60g）
- (8) 内ポケット
 - ア 大型の内ポケットの上に小型の箱ポケットを乗せる。
 - イ 面ファスナー付きの雨蓋仕様とする。

防寒着寸法表

単位：cm

	着 丈	肩 幅	胸 廻	裾 廻	衿 丈	袖口廻
2XL	88	54	134	129	96. 4	25
XL	85	52. 6	130	125	94. 2	24
L	82	51. 2	126	121	92	24
M	79	49. 8	122	117	89. 8	24
S	76	48. 4	118	113	87. 6	23

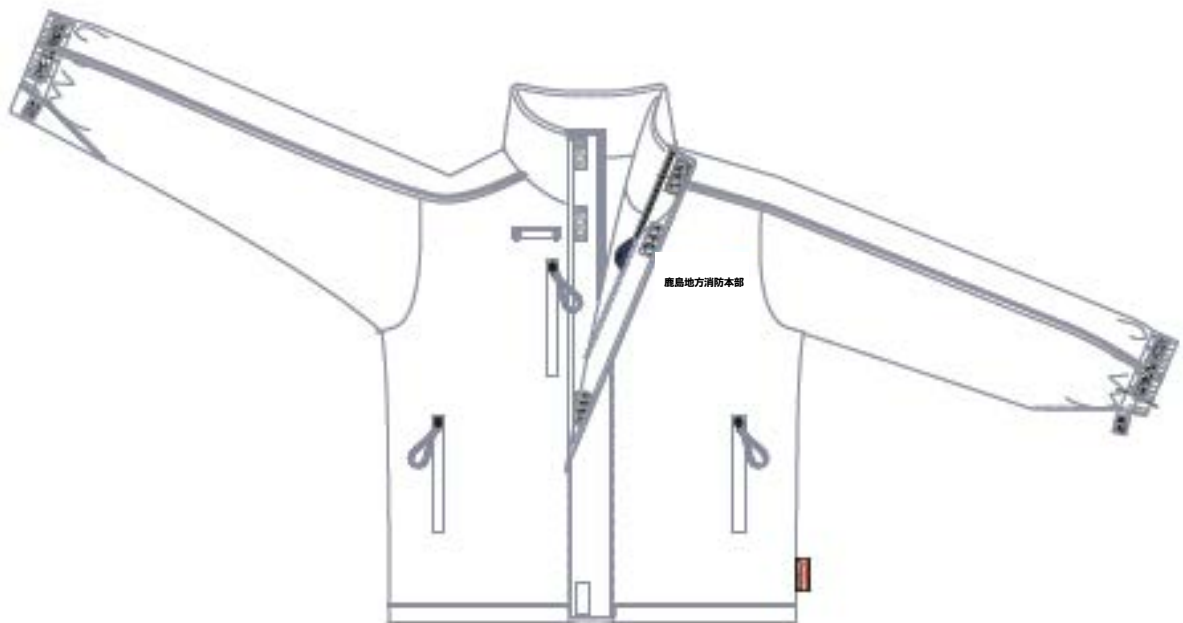
※ 別寸者は、別途指示する。

※ 数値は、出来上がり寸法を示す。

5 参考図

(1) 前面

ア 全体



イ 刺繍（左胸）

単位：mm

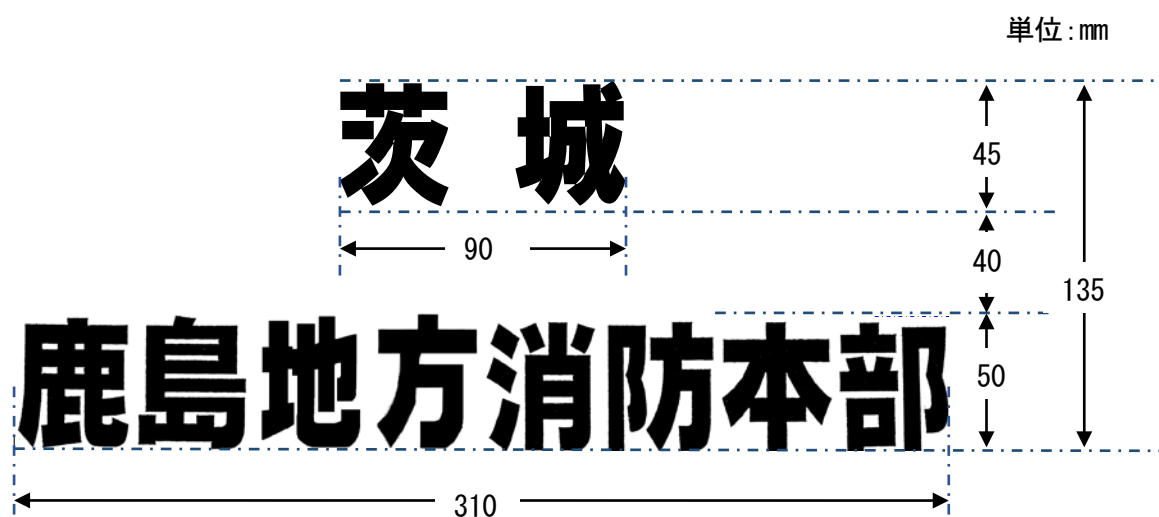


素材等：オレンジ色刺繍

- (2) 背面
ア 全体



- イ バックプリント



素材等：熱圧着・オレンジ反射プリント

資料 9

品名 黒短靴

- 1 形式 MG1310N
 2 色 黒
 3 詳細

単位：mm

番号	名 称	使用材料 ・ 色		備 考
1	先革	牛クロム銀付革	黒	厚さ 1.4 標準
2	腰革	〃	〃	〃
3	アウポケ	〃	〃	〃
4	履口革	〃	〃	〃
5	べろ革	〃	〃	〃
6	先裏	合成材	グレー	
7	腰裏	〃	〃	
8	べろ裏	〃	〃	
9	インポケ	〃	〃	
10	履口クッション	ウレタンスポンジ		厚さ 5.0 標準
11	甲縫糸	合成繊維糸	黒・グレー	#20 番手相当
12	靴ひも	綿丸ひも	黒	長さ 750 標準
13	先しん	合成材		厚さ 1.25 標準
14	月形しん	〃		厚さ 1.75 標準
15	中底	導電合成材		通気孔付
16	中物	導電通気スポンジ		厚さ 3.0 標準
17	踏まずしん	樹脂シャンク		通気孔付
18	表底	発泡ポリウレタン	黒	静電配合、通気孔付
19	中敷	合成材カップインソール	〃	導電構造、通気孔付

4 参考図

図-1の番号は 3 詳細の番号に対応

図-1 外観

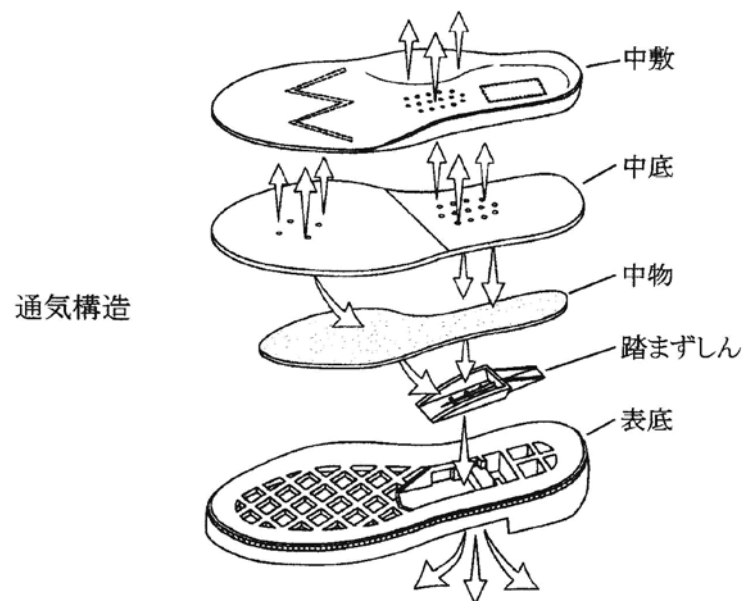
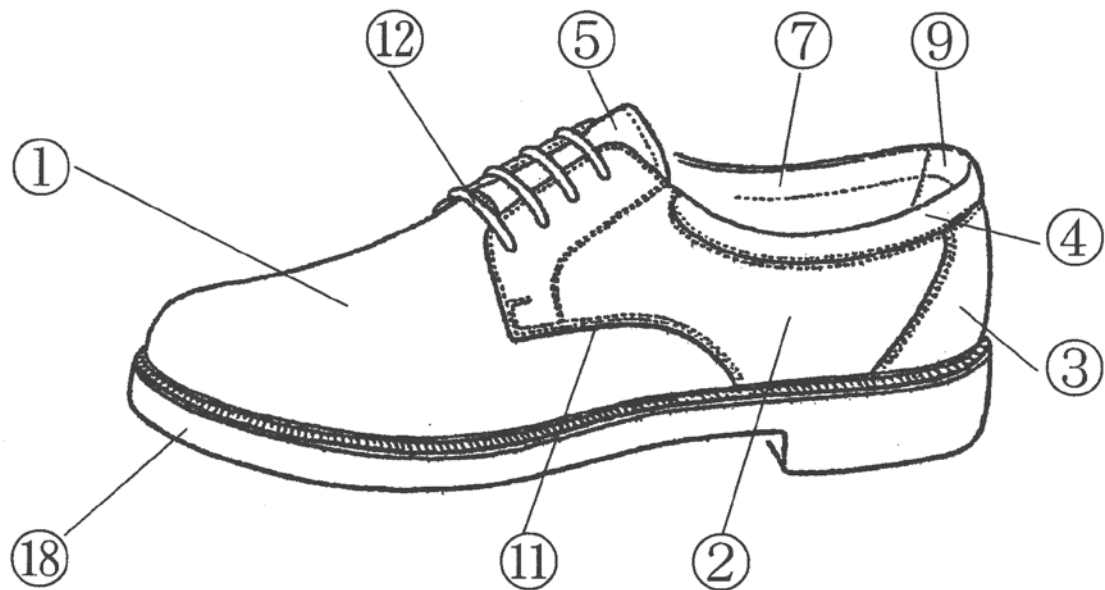
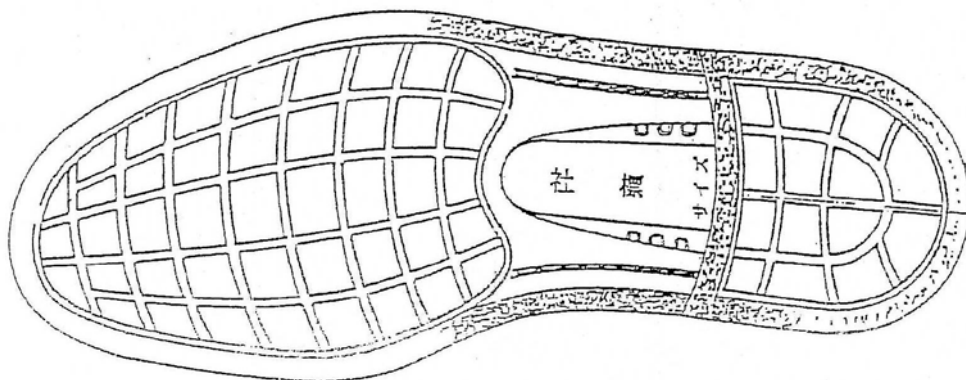


図-2 底意匠



資料 10

品名 編み上げ靴

1 形式 RT731 F 消防静電 P-4

2 色 黒

3 詳細

番号	名称	使用材料		備 考
1	先革	牛クロム銀付ソフト型押し革	黒	厚さ1.7±0.2
2	腰革	〃	〃	
3	市革	〃	〃	
4	アウポケ	〃	〃	
5	パッチ革	〃	〃	
6	ファスナーカバー革	〃	〃	
7	べろ革	牛ソフト革	〃	厚さ1.1±0.2
8	べろ落ち防止革	〃	〃	
9	防水革	〃	〃	
10	インポケ	〃	〃	
11	はとめ裏	〃	〃	
12	先裏	合成材	グレー	
13	履口裏	〃	〃	
14	履口クッション	ウレタンスポンジ		厚さ10標準
15	反射テープ	合成材	オレンジ	幅15標準
16	面ファスナー	合成樹脂製	黒	幅25×45標準
17	はとめ	真鍮製	〃	#300丸／黒天塗
18	サイドファスナー	樹脂コイルファスナーNo. 8	〃	長さ200～230標準
19	月形しん	再生革		
20	甲縫糸	合成繊維糸	黒	#20番手相当
21	中底	導電性合成材		
22	先しん	ワイド強化樹脂製		
23	踏抜防止板	ステンレスバネ鋼		厚さ0.4標準
24	表底（ミッド）	発泡合成ゴム 黒静電配合	黒	
25	表底（アウト）	耐油性合成ゴム	〃	表-2による
26	中敷	合成材全敷（カップインソール）	〃	導電構造、抗菌・防臭加工
27	靴ひも	綿、合成繊維混紡	〃	長さ1600標準

4 参考図

図-1の番号は 3 詳細 の番号に対応

図-1 外 観

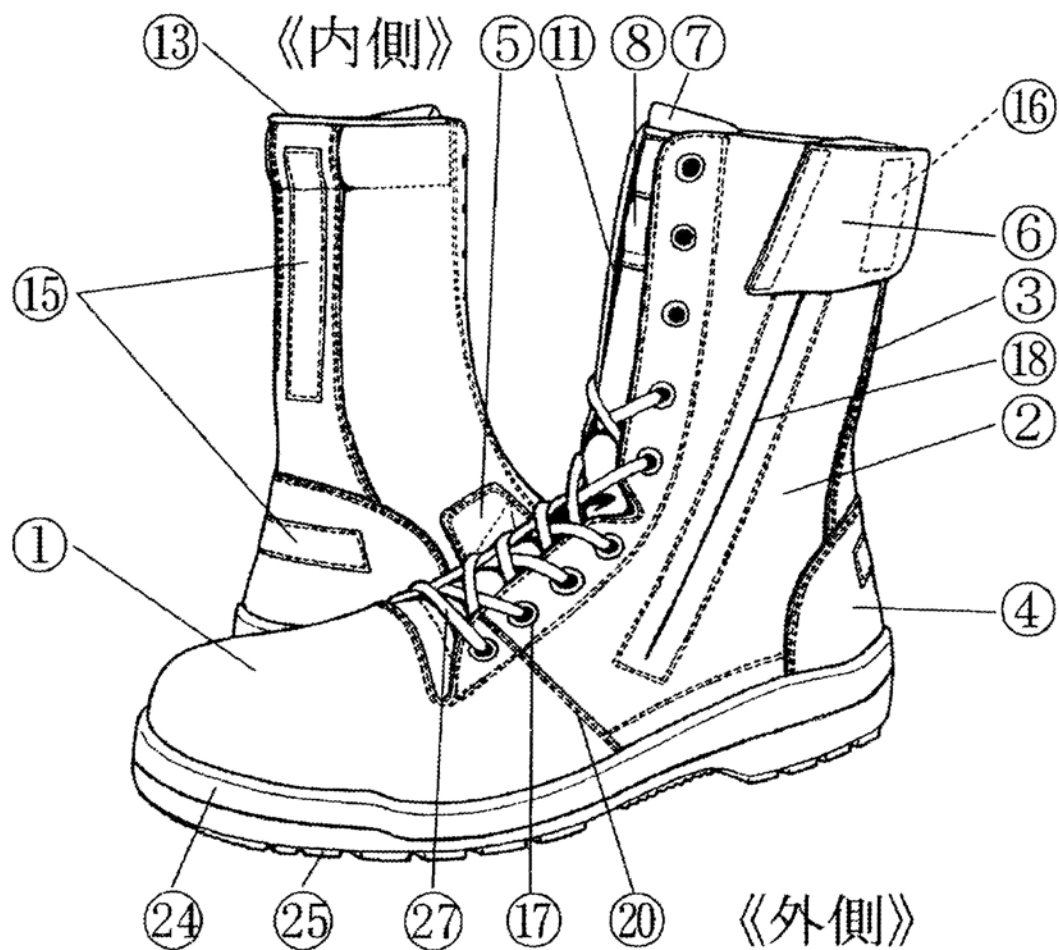
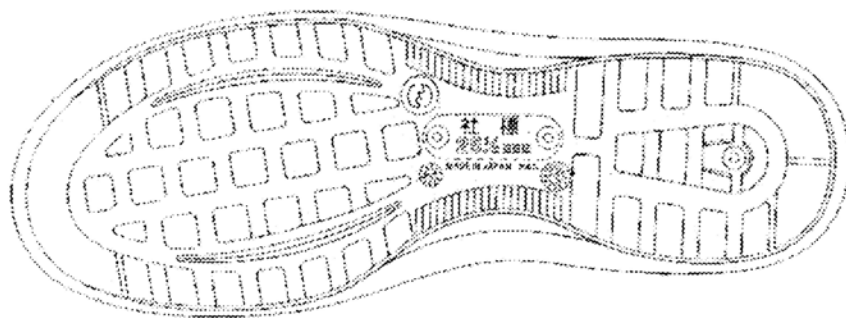


図-2 底意匠



資料 1 1

品名 雨衣（上・下）

仕様

1 型式

（1）上衣

ア	全体の形状	半コート型
イ	身頃	胸部・背面部・腰囲に反射テープ
ウ	前立て	二重前立て、ファスナー開閉、面ファスナーとボタン止め
エ	裾	調節ゴムコード付き
オ	袖	ラグタン軸、袖口上部に反射テープ
カ	衿	スタンドカラー
キ	フード	衿に収納式の大型フード、両脇に調節ゴムコード付き
ク	ポケット	両脇に止水ファスナーで開閉（左側は内側にスルーポケット）
ケ	収納袋	調節コード付き
コ	名入れ	背中上部上段に「茨城」下段に「鹿島地方消防本部」とネイビー色 反射文字でプリントすること。※参考図（3）。

（2）ズボン

ア	全体の形状	長ズボン型
イ	身頃	膝部前後に反射テープ、後中心は縫い目の無いシームレス仕様
ウ	ウエスト	ゴム入り、ベルトループ5本
エ	前立て	二重前立て、ファスナー開閉、面ファスナーとボタン止め
オ	スルーポケット	右前に止水ファスナーで開閉
カ	裾	裾外側に二重雨蓋付きスリット、ファスナー開閉
キ	収納袋	調節コード付き

2 生地

（1）織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないものであること。

（2）使用する生地は下記の規格とすること。

ア	構造	無孔質ポリウレタンのフィルムにナイロン布とニットをラミネート加工 した3層構造又は同等品	
イ	色相	全体（上衣、ズボン）	オレンジ
		上衣ラグタン袖上部	ネイビー
ウ	組織	平織	
エ	厚さ	0.22±0.10mm	
オ	質量	120±20g/m ²	

カ 耐水度 初期 300kpa以上
ク はっ水度 初期 4 以上、20回洗濯後 3 以上
ケ 透湿度 660g/m²・h以上

3 目止めテープ

- (1) 織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないものであること。
- (2) 使用する生地は下記の規格とすること。

ア 構造 多孔質PTEFを基材とするフィルムにニットと熱可塑性樹脂を加工した 3
層構造又は同等品
イ 色相 生地裏面と同系色
ウ 幅 20mm

4 反射テープ

- (1) 織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないものであること。
- (2) 使用する生地は下記の規格とすること。

ア 品名 超高感度マイクロプリズム反射材又は同等品
イ 色相 白色
ウ 幅 50mm
エ 反射性能 観測角：0.2°、入射角：5°

5 縫製基準

- (1) 各部の縫い合わせの上下糸につれやたるみ、縫い飛び、外れ等がないこと。
- (2) 縫い代は、特に指定するものの他、0.5cmとする。
- (3) 返し縫いは1.0cmとし完全に行う。
- (4) 本体同士の縫合部分は、目止めテープ（3層用）にて目止めする。
- (5) 裁目のほつれ部分については二ツ折り、三ツ折りのいずれかの方法により必要な処理をする。
- (6) 運針数は13針/3cm以上とする。

6 縫製仕様

(1) 上衣

ア 衿 スタンドカラーとし、内衿にメッシュを用いる。
イ 衿つり 表共生地による衿つりを内衿つり中央付け根に挟み込む。
ウ 袖 ラグタン袖とし、身頃に地縫いとシングルステッチで縫い合わせる。
エ 袖口 袖口はゴム入り、調節タブ付き（面ファスナー止め）とする。
オ 前立て 二重前立てとし、内側はファスナーにより開閉する。上前立てと下前
立ては面ファスナーとボタン（上端、下端）で止める。

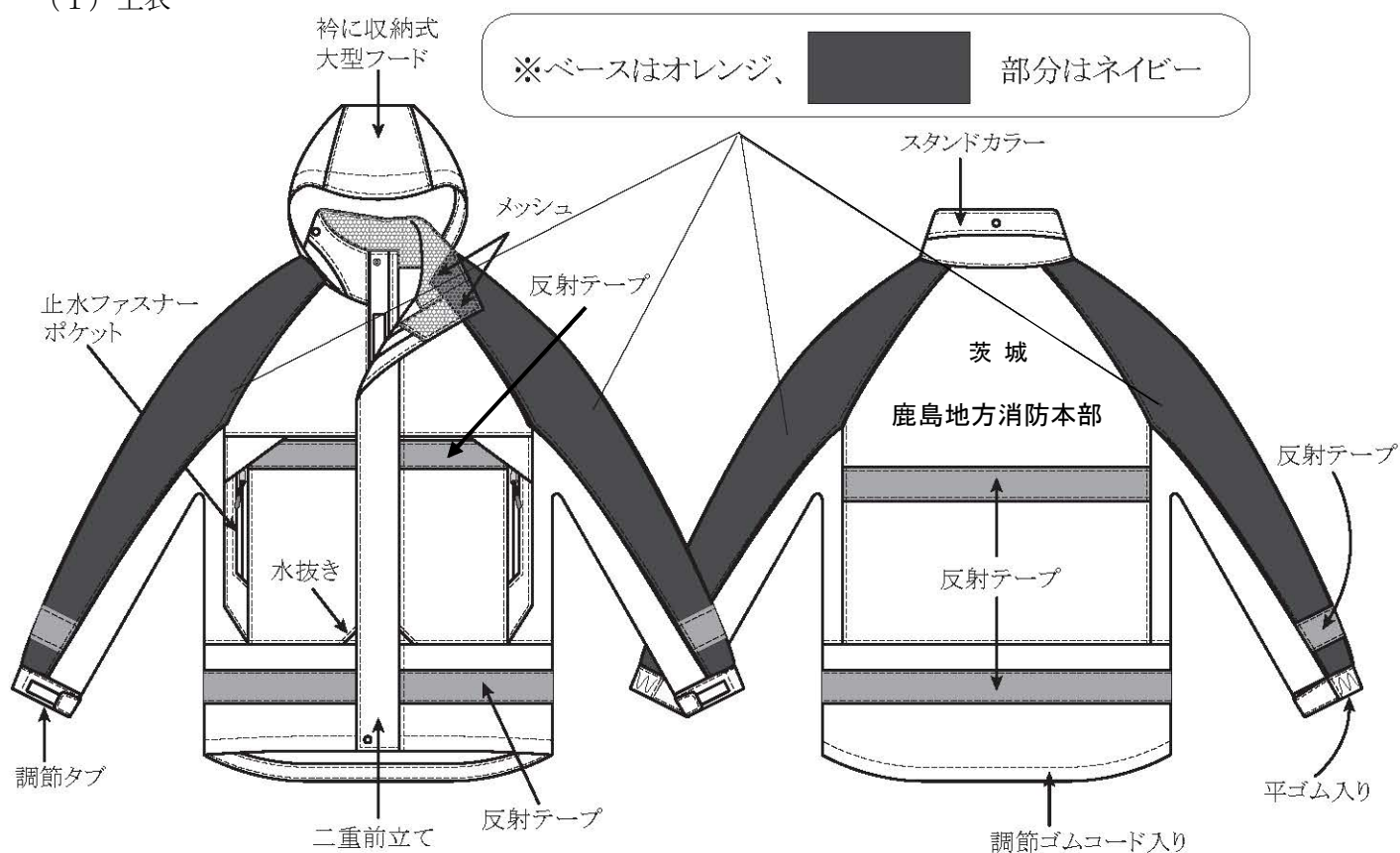
- カ 脇 前身頃と後身頃を地縫いとシングルステッチで縫い合わせる。
- キ 裾 見返しを付け、地縫いとシングルステッチで止める。調節ゴムコード付き（ストッパー付き）とする。
- ク ポケット 両脇に止水ファスナー開閉のポケットとする。
- ケ スルーポケット 左側の内ポケットはスルーポケットとする。
- コ フード 衿に収納式（ボタン止め）とし、調節ゴムコード付き（ストッパー付き）とする。

（２）ズボン

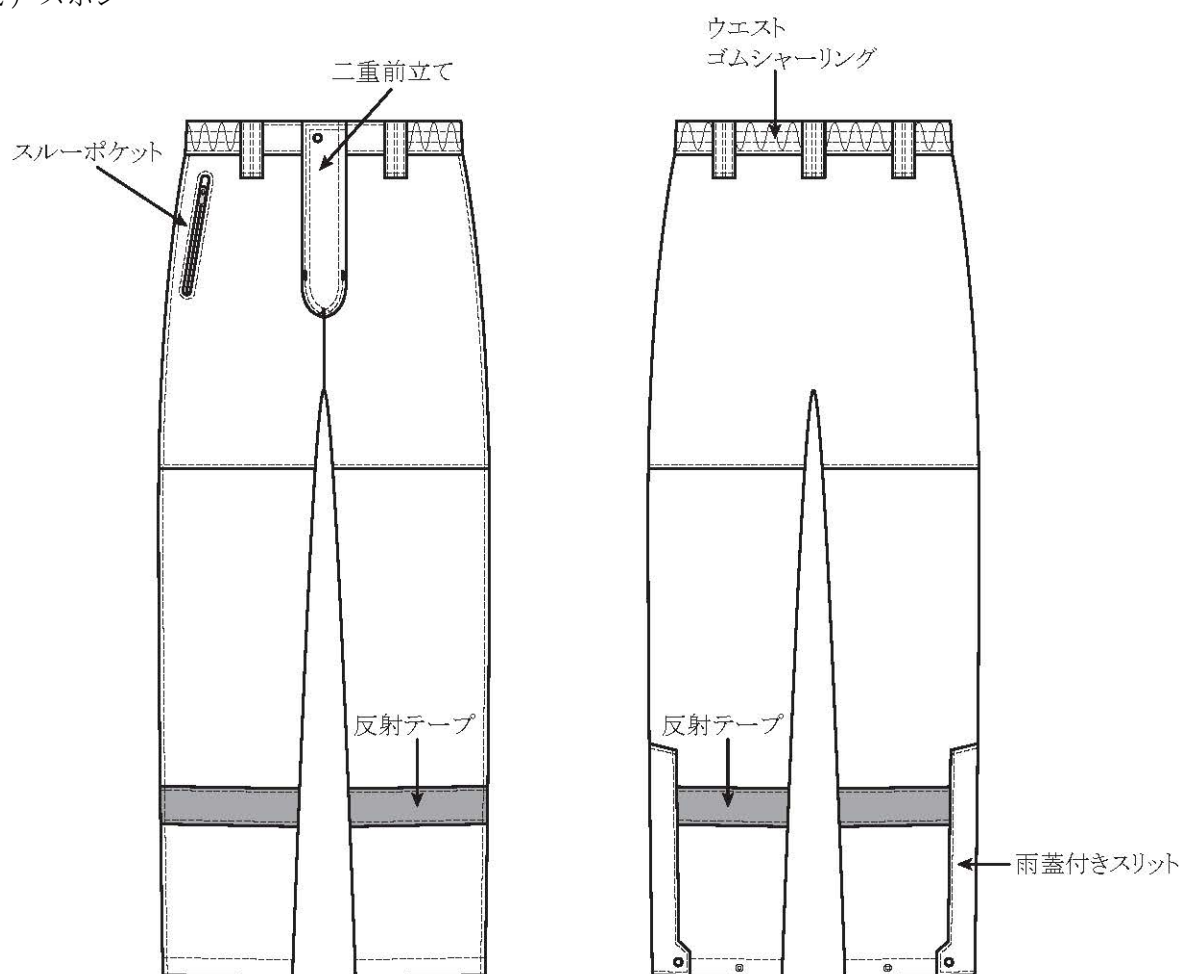
- ア ウエスト 平ゴム入りとし、ベルトループを5本付ける。
- イ 前立て 二重前立てとし、内側はファスナーで開閉する。上前立てと下前立ては面ファスナーと釦（上端）で止める。
- ウ 脇 前後を地縫いとシングルステッチで縫い合わせる。
- エ 裾 三ツ折りとし外側に二重雨蓋付きスリット（ファスナーで開閉、下端をボタン止め）とする。
- オ スルーポケット 右側に止水ファスナー開閉のスルーポケットとする。

7 参考図

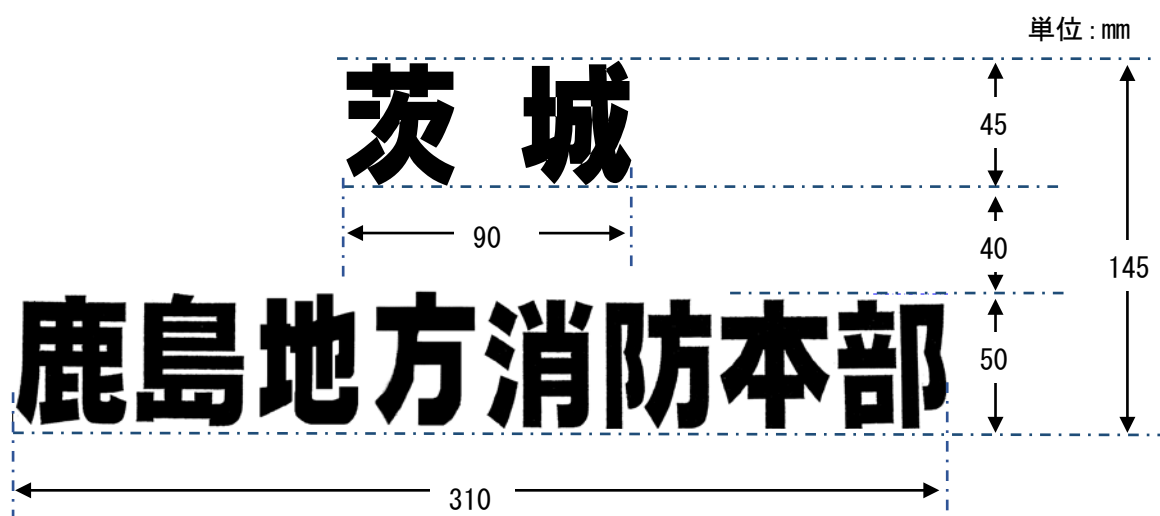
(1) 上衣



(2) ズボン



(3) バックプリント

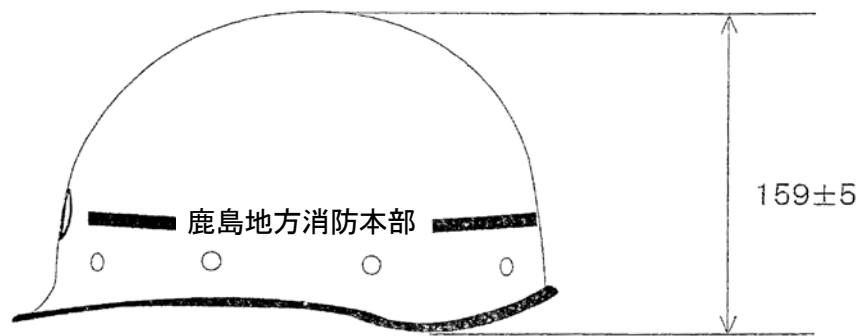
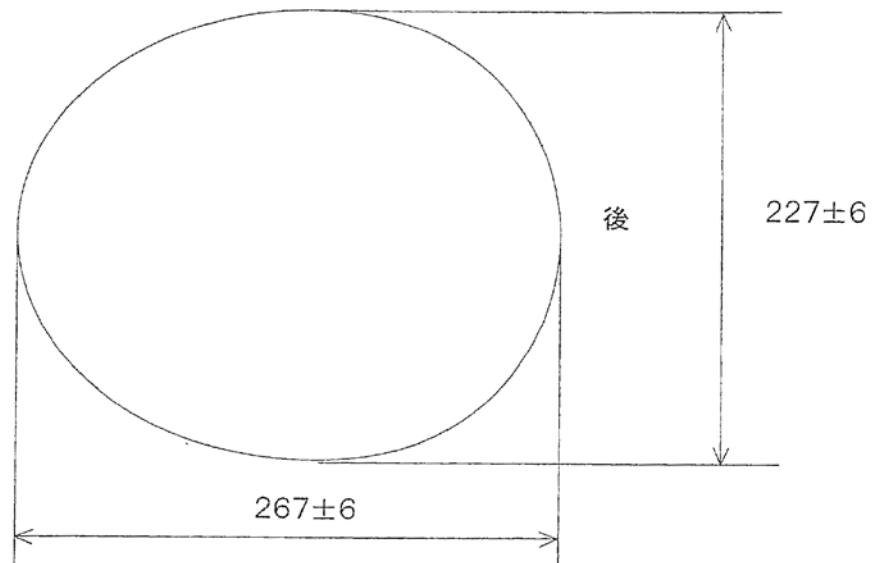


素材等 : 熱圧着・紺反射プリント

資料 1 2

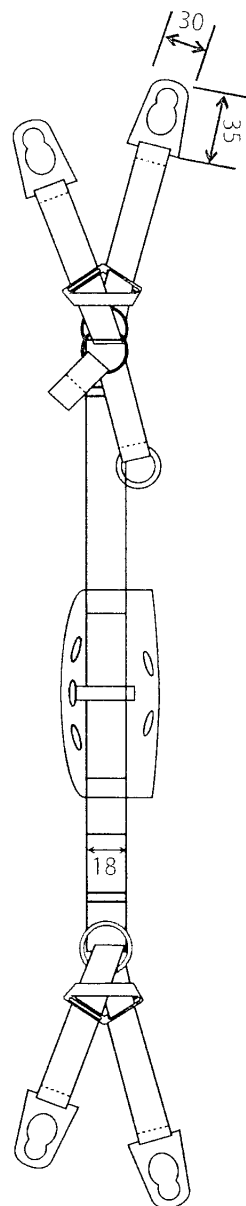
品名 ヘルメット

- 1 形式 FM-8 型 F-1-P 式
- 2 色 銀
- 3 ライン 指定した階級のラインを貼り付けること。
- 4 名称 「鹿島地方消防本部」の文字を貼り付けること。
- 5 参考図



あごひも（リング式）

あごあて（黒色）



別添1
給与品サイズ別内訳表

品目		夏服長袖													
サイズ	上	YM	YL	Y2L	AS	AM	AL	A2L	A3L	BS	BM	BL	B2L	B3L	計
数量							1	3					2	1	7
サイズ	下	YM	YL	Y2L	AS	AM	AL	A2L	A3L	BS	BM	BL	B2L	B3L	計
数量							1	3					2	1	7
階級		消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	計					
数量		1	1	1			4			7					

品目		夏服半袖													
サイズ	上	YM	YL	Y2L	AS	AM	AL	A2L	A3L	BS	BM	BL	B2L	B3L	計
数量							1	4	1		1		1	1	9
サイズ	下	YM	YL	Y2L	AS	AM	AL	A2L	A3L	BS	BM	BL	B2L	B3L	計
数量							1	4			1		1	2	9
階級		消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	計					
数量			1	2	1	1	4			9					

品目		夏帽										
サイズ	上	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	計
数量								3		1		4

品目		活動服(厚手)													
サイズ	上	AS	AM	AL	A2L	A3L	BS	BM	BL	B2L	B3L	計			
数量		1	1	15	21	4		2	3	2	3	52			
サイズ	下	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	B2	B3	B4	B5	B6	計	
数量		1			7	9	13	11	3	5	1		2	52	
階級		消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	計					
数量		5	2	15	10	15	4	1		52					

品目		活動服(薄手)													
サイズ	上	AS	AM	AL	A2L	A3L	BS	BM	BL	B2L	B3L	計			
数量			5	26	27	6		2	8	5	6	85			
サイズ	下	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	B2	B3	B4	B5	B6	計	
数量		1		3	3	15	25	13	11	7	3	3	1	85	
階級		消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	計					
数量		22	6	20	13	13	11			85					

品目		冬救急服(TA-1410)													
サイズ	上	AM	AL	A2L	BM	BL	B2L	B3L	計						
数量		2	8	8		2	5	5	30						
サイズ	下	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	W100	W105	W110	W115	計	
数量		1	1	2	7	6	3	5	3	1		1		30	
階級		消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	計					
数量		2	4	17	6	1				30					

※袖の伸縮について、延長3着、短縮2着あり。

品目		夏救急服(TA-1403長袖)													
サイズ	上	AM	AL	A2L	BM	BL	B2L	B3L	計						
数量		1	1	4			1		7						
サイズ	下	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	W100	W105	W110	W115	計	
数量		1				2	1		3					7	
階級		消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	計					
数量		3	3	1						7					

※袖の伸縮について、延長1着、短縮1着あり

品目		夏救急服(TA-1403半袖)													
サイズ	上	AM	AL	A2L	BM	BL	B2L	B3L	計						
数量			5	4		1	2	2	14						
サイズ	下	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	W100	W105	W110	W115	計	
数量				2	2	3	3	3			1			14	
階級		消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	計					
数量		3		8	1	2				14					

品目 ネクタイ	
サイズ	
数量	28

品目 黒短靴													
サイズ	23.5	24	24.5	25	25.5	26	26.5	27	27.5	28	29	30	計
数量			1	2	16	10	13	12	16	2	3		75

品目 編み上げ靴													
サイズ	23.5	24	24.5	25	25.5	26	26.5	27	27.5	28	29	30	計
数量			2	6	4	8	10	10	3	6			49

品目 雨衣								
サイズ	上	S	M	L	2L	3L	4L	計
数量			10	21	17	2		50
サイズ	下	S	M	L	2L	3L	4L	計
数量		1	13	20	14	2		50

品目 ヘルメット									
サイズ									
数量	53								
階級	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監	消防正監	計
数量	4	10	14	10	9	6			53

品目 ゴム長靴								
サイズ	24.5	25	25.5	26	27	28	29	計
数量	1	1	4	16	15	4	3	44

品目 白手	
サイズ	
数量	106

品目 革手					
サイズ	M	L	2L	3L	計
数量	39	79	33	5	156

品目 ケブラー手袋				
サイズ	M	L	2L	計
数量	66	75	19	160

別添2 配布先一覧

品名 夏服（長袖）

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	3	1	2	0	0	1	0	7

品名 夏服（半袖）

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	4	1	1	2	0	0	1	9

品名 夏帽

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	0	0	1	0	0	3	0	4

品名 活動服（厚手）

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	11	6	3	16	2	9	5	52

品名 活動服（薄手）

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	15	10	16	19	14	7	4	85

品名 冬救急服

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	0	8	2	9	2	5	4	30

品名 夏救急服（長袖）

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	0	1	4	0	1	1	0	7

品名 夏救急服（半袖）

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	0	1	2	2	3	2	4	14

品名 アポロキャップ

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	13	6	13	14	7	18	5	76

品名 アポロキャップ（メッシュ）

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	10	12	12	9	7	7	6	63

品名 夏服用ベルト

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	7	1	1	1	1	7	2	20

品名 活動服用ベルト

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	12	18	22	14	11	19	10	106

品名 救助服用ベルト

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	0	0	2	1	1	4	0	8

品名 救急服用ベルト

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	0	10	10	5	4	6	8	43

品名 救急用替え襟

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	0	6	5	9	6	6	5	37

品名 ブルゾン

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	2	3	14	5	3	11	4	42

品名 ワイシャツ

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	14	4	7	4	8	12	2	51

品名 ネクタイ

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	7	6	3	7	0	2	3	28

品名 黒短靴

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	15	15	11	10	4	14	6	75

品名 編み上げ靴

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	9	3	14	9	5	8	1	49

品名 雨衣

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	14	4	8	7	4	9	4	50

品名 ヘルメット

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	6	3	13	14	4	7	6	53

品名 ゴム長靴

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	7	9	5	4	5	9	5	44

品名 白手

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	21	10	17	21	7	21	9	106

品名 革手

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	26	8	31	24	25	32	10	156

品名 ケブラー手袋

所属	消防本部	大野消防署	鹿嶋消防署	神栖消防署	鹿島港消防署	波崎消防署	波崎消防署 土合分署	計
数量	8	15	26	40	22	32	17	160